

LION'S

DISTRICT 333-C

2016-2017 **Vol.2**

December 2016



ライオンズクラブ国際協会 333-C地区



2016-2017 333-C地区地区ガバナースローガン

希望あふれる海原^{うみ}

奉仕の帆を上げ 新たな百年へ

よーそろー



Contents

2016～2017年度 ガバナー公式訪問レポート ……	4
11リジョン～12リジョン各合同例会報告	
カンボジア・シェムリアップでの 学校建設事業支援の経過報告 ……	16
2015～2016年度YCEレポート	
夏期来日生受け入れ・夏期派遣生報告 地区YCE委員会 ……	18
夏期YCE派遣生レポート ……	21
夏期YCE受け入れ家庭・来日生レポート ……	26
チャーターナイト周年記念式典・行事 ……	34
FWT全日本女性フォーラムin東京 ……	39
日本アイバンク運動推進協議会 第39回全国大会 千葉大会 ……	40
クラブニュース ……	42
寄稿・ライオンズクラブ100周年を迎えて ……	49
2016～2017年度平和ポスターコンテスト ……	50
第63回地区年次大会・案内	



Report

ガバナー公式訪問リポート



ガバナー公式訪問1R合同例会報告
カンボジア小学校建設資金に多額のドネーション集まる!
 8月27日(土) / 会場・・・浦安ブライトンホテル東京ベイ

1リジョン1ゾーン・2ゾーンのガバナー公式訪問合同例会を開催するに当たり、1リジョンの正会員が227名です。例会出席を7割の160名を内心目標にしていました。また、出来れば入会式を行いたいと思っていました。浦安ライオンズクラブ会長L古河守男、行徳リバーサイドライオンズクラブ会長L谷島重夫に感謝申し上げます。

地区ガバナーとの何回かの電話でのやり取りのなかで、レガシー・プロジェクトのカンボジアに小学校建設の資金協力の説明とお願いをしたとの意向でしたので、1リジョン1ゾーンのゾーンチェアパーソンL杉山民生と相談して、歓迎懇親会でのライオンズ100周年コーデイネーターL土屋英雄の挨拶の時間を作る事

と、TTタイムでのドネーションをプロジェクト資金に協力出来ないかと、今回ホストクラブ浦安中央ライオンズクラブのTTで地区FWT委員L館里枝と司会を担当してくれる地区情報PR・IT委員L井上信弘に相談したところ快く引き受けていただき、11クラブテール・ツイスターの頑張りで大抽選会を行う事が出来ました。改めて物品協賛・景品買い付け等して頂いたライオンズメンバーの方に感謝申し上げます。歓迎懇親会のTTタイムでは、地区ガバナーのプロジェクトの説明とライオンズ100周年コーデイネーターL土屋英雄の熱い思いとで、

思った以上のドネーションが集まりました。少しはお役に立てたかと思えます。何かと行き届かないところはあったと思いますが、最初で最後のホストゾーン・チェアパーソンとして、地区ガバナーL松本宰史、キャビネット役員、来賓の皆様さま、お手伝い頂いた事務局員また1リジョン全てのライオンズメンバーにL杉山民生ともども感謝申し上げます。

思った以上のドネーションが集まりました。少しはお役に立てたかと思えます。何かと行き届かないところはあったと思いますが、最初で最後のホストゾーン・チェアパーソンとして、地区ガバナーL松本宰史、キャビネット役員、来賓の皆様さま、お手伝い頂いた事務局員また1リジョン全てのライオンズメンバーにL杉山民生ともども感謝申し上げます。



第二副地区ガバナーL木村英俊によるローア



10名の新入会員へ地区ガバナーから記念品の贈呈



100周年記念フラッグへ大勢のメンバーがサイン

思った以上のドネーションが集まりました。少しはお役に立てたかと思えます。何かと行き届かないところはあったと思いますが、最初で最後のホストゾーン・チェアパーソンとして、地区ガバナーL松本宰史、キャビネット役員、来賓の皆様さま、お手伝い頂いた事務局員また1リジョン全てのライオンズメンバーにL杉山民生ともども感謝申し上げます。

(1R-2Z HZC L岡本武司)

Report



ガバナー公式訪問 2R 合同例会報告
100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトは地区事業支援で
8月28日(日) / 会場…ロイヤルガーデンパレス柏 日本閣



TTタイム 「人生まだまだ」



会員増強、記念品贈呈



地区ガバナーと三役懇談会

333-C地区2リジョンガバナー公式訪問合同例会は、2016年8月28日(日)、ロイヤルガーデンパレス柏日本閣で開催されました。「クラブ三役懇談会」では、地区ガバナー基本方針について、特に「100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト」や会員増強の重要性と必要性についての説明を受けました。各クラブ会長が現況報告を行った後、質疑応答に入りました。地区ガバナーL松本幸史からヒントを得ながら進行し、アクティビティやブレインストーミング、研修会への要望、今後

のライオンズクラブの方向性など、忌憚のない意見交換が行われ、相応の時間が費やされ有意義な会議となりました。

2リジョンの「100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト」は地区事業を支援することです。TTタイムではこのアクティビティを成功させるべく、流山スーパークイズ、松戸さん(松戸中央ライオンズクラブ)、テール・ツイスターがのぼり旗で雰囲気盛り上げました。おかげさまで多額の支援金をガバナーにお預けすることができました。2リジョンを誇りに思うとともに、皆様には感謝を申し上げます。

100周年記念フラッグへのサインや記念撮影会も行われ、「合同例会 懇親会」は和やかなうちに閉宴しました。親睦も深まり良い例会だったと思います。

(2R-2Z HZC L三ヶ田英雄)



Report



ガバナー公式訪問3R合同例会報告 終始なごやかなムードの中で行われ、楽しさのある公式訪問合同例会に 9月3日(土)／会場…ロイヤルガーデンパレス柏日本閣

3リジョンのガバナー公式訪問合同例会を9月3日(土)にロイヤルガーデンパレス柏日本閣にて開催いたしました。

合同例会に先立って行われたクラブ三役懇談会では、各クラブ会長の協力もあり、クラブ報告も簡潔にまとめ発表され、地区ガバナーL松本幸史との意見交換の時間を長めにとることができました。その結果、特に100周年記念



後ろにはずらり並んだスローガン、今年度の意気込みが伝わってきます



地区ガバナーL松本幸史からの今年度方針説明



ピンバッジの授与を受けてライオンズローア



終始なごやかなムードで

意見交換がなされ、地区ガバナー方針の各クラブへの理解も一層深まったことと思います。そして、合同例会本番、白いタキシードに身を包んだ地区ガバナーを先頭に、地区役員の皆様が入場すると出席者200名から大きな拍手が沸き起こり、会場は一気に歓迎ムードに包まれました。

また、地区ガバナー挨拶及び運営方針説明では、プロジェクトを使用した丁寧でわかりやすい説明に、地区ガバナー方針の会員への理解も深まりました。その後は、今年度7月からの新入会員11名に地区ガバナーから記念のピン

事業や会員増強、レオクラブ活動など活発な意見交換がなされ、地区ガバナー方針の各クラブへの理解も一層深まったことと思います。そして、合同例会本番、白いタキシードに身を包んだ地区ガバナーを先頭に、地区役員の皆様が入場すると出席者200名から大きな拍手が沸き起こり、会場は一気に歓迎ムードに包まれました。

また、地区ガバナー挨拶及び運営方針説明では、プロジェクトを使用した丁寧でわかりやすい説明に、地区ガバナー方針の会員への理解も深まりました。その後は、今年度7月からの新入会員11名に地区ガバナーから記念のピン

また、地区ガバナー挨拶及び運営方針説明では、プロジェクトを使用した丁寧でわかりやすい説明に、地区ガバナー方針の会員への理解も深まりました。その後は、今年度7月からの新入会員11名に地区ガバナーから記念のピン

(3R12Z ZC L助川忠弘)



ガバナー公式訪問4R合同例会報告

懇親会の余興は沖縄民謡、会場一体となって大いに盛り上がりました
 9月11日(日)／会場…船橋グランドホテル



地区ガバナーL松本幸史と各クラブとの記念写真

9月11日(日)、4リジョンの「ガバナー公式訪問」が行われました。当日は1ゾーン4クラブ・2ゾーン4クラブの計8クラブのメンバー122名の参加でした。
 受付に大きなサインの場所が用意され、公式訪問に参加したメンバー全員のサインを記して、100周年を迎える記念として残されると



船橋中央レオクラブとの記念写真



地区ガバナーL松本幸史・第一副地区ガバナーL高橋克文・第二副地区ガバナーL木村英俊のスリーショット

の事でした。

L森田雅巳の司会、L阿部清司の開会の言葉、L福島真知世の開会ゴングと例会が始まりました。物故ライオンに黙祷を捧げ、亡きメンバーへの思いを胸に、会は進行いたしました。公式訪問でのガバナーの地区運営方針が1番のメインとなり、参加者は心一つにして、聞き入りました。

ボブ・コリニュー国際会長の「次の山を目指そう」というメッセージも伝えられました。そして、100周年の記念としてのレガシー

を残そうという基本方針の中で3331C地区

としてのレガシーはカンボジア学校建設で、二期にかけて行われる事が報告され、会場でも個人としての募金も行われました。

また、クラブ会長からのクラブの現況報告もあり、新入会員に記念のラベルボタンが手渡され、大きな拍手に包まれました。

クラブ会長のスローガンと共に、その思いは資料として紙面につづられ1年間の目標となる事でしょう。

懇親会に移り、千葉県アイバンク協会元理事

長のL林静誠からゲストスピーチがあり会は楽しい懇親の場へと移りました。余興の沖縄民謡と共に会場のメンバーを巻き込んで盛り上がりました。

最後にガバナーを囲んで、クラブ単位で記念の写真を撮り、「また会う日まで」を全員で合唱して公式訪問は終わりとなりました。

(4R-1Z

H Z C L高橋芳夫)



Report



ガバナー公式訪問5R合同例会報告

レガシープロジェクトへ多くの参加者から出資資金のドネーション

9月17日(土)／会場…船橋グランドホテル

2016年9月17日(土)16時30分より、船橋グランドホテルにおいて、地区ガバナーL松本宰史をお迎えし、ライオンズクラブ国際協会333-C地区5リジョン1ゾーン・2ゾーンガバナー公式訪問合同例会を開催いたしました。参加者は地区役員を含め104名でした。

当日は、公式訪問合同例会に先立ち、14時より2時間、5リジョン内12クラブ三役会議を行い、各クラブ会長より各クラブ三役の紹介と現状について詳細な報告が行われ、キャビネット役員の皆様は5リジョンの各クラブの取り組みを理解されたようでした。



ガバナーより記念品贈呈



ガバナー方針の説明



キャビネット役員と各クラブ三役会議



地区ガバナー歓迎懇親会

会議終了後、船橋北ライオンズクラブ幹事L川上勇、八千代ライオンズクラブ幹事L中村義博の司会進行により16時30分にガバナー公式訪問合同例会が始まりました。

5リジョン1ゾーンゾーン・チェアパーソンL大谷昇の開会のゴング、2ゾーンゾーン・チェアパーソンL有馬淳の歓迎の挨拶、各クラブ会長の挨拶の後、地区ガバナーL松本宰史より挨拶及び地区の運営方針の説明があり、引き続きキャビネット幹事L石川良和より幹事報告、キャビネット会計L白幡進より会計報告がなされました。

続いて、地区ガバナーよりの記念品を各クラブ会長が拝受し、各クラブ会長から地区ガバナーへ記念品の贈呈がなされた後、白井ライオンズクラブ会長L長瀬正久のライオンズ・ローア、習志野中央ライオンズクラブ会長L飯田裕一の閉会の言葉をもって閉会しました。

引き続き、地区ガバナー歓迎懇親会が18時10分より、白井あすなろライオンズクラブ幹事L櫻井陽子、八千代東ライオンズクラブ幹事L比良田裕二の司会進行で、船橋アートマンライオンズクラブ会長L福原光重の開宴の言葉で始まりました。

会食・歓談中には地区名誉顧問・元地区ガバナーL吉田政勝、習志野ライオンズクラブL海老原健治、地区名誉顧問・元地区ガバナーL金井一夫の3名にメルビン・ジョーンズ・プログレス・フェローMJFが贈られました。また、地区事業としてのレガシープロジェクトでは、当日の呼びかけにもかかわらず多くの参加者から出資資金がなされ、壇上にてスペシャル記念のピンが贈呈されました。また、100周年記念合同例会として地区役員と各クラブメンバーとの記念写真撮影がなされ、終始和やかな時間を過ごすことが出来ました。

最後に「また会う日まで」を参加者全員で合唱し、八千代東ライオンズクラブ会長L今井章一による閉宴の言葉で終了となりました。

(5R12Z)

HZC L有馬 淳



Report



ガバナー公式訪問6R合同例会報告

約150名のクラブメンバーが集まり、活発に意見交換

9月24日(土)／会場・・・ホテルポートプラザちば



希望に燃える新入会員(千葉ネオライオンズクラブ)

9月24日(土)ホテルポートプラザちばにおいて、地区ガバナー公式訪問合同例会が開催されました。333-C地区ガバナーL松本宰史をはじめ来賓13名を迎え6リジョン各クラブから約150名の参加がありました。

公式訪問合同例会の前にキャビネット役員と各クラブ三役が参加し「地区ガバナーを囲む懇親会・昼食会」を行いました。各クラブより活動報告をしていただき、そのなかで、「100年間世界に奉仕を続けてきた実績に凛々しく襟を正し、誇りを持つ」とライオンズの100年の歴史の再認識という地区ガバナーの話の中で、各クラブは活発な意見交換・質疑応答が出来、とても有意義な懇親会となりました。

合同例会は、6リジョン1ゾーン ゾーン・チェアパーソンL吉田隆憲の先導により地区ガバナー、キャビネット役員が入場し歓迎の拍手でお迎えしました。千葉エコーライオンズクラブ会長L岡部文彦の開会宣言の後、2ゾーンゾーン・チェアパーソンL水上明美の力強いゴングで合同例会はスタートしました。地区ガバナーL松本宰史による地区ガバナー運営方針スピーチは、プロジェクトを使い分かりやすく、クラブ国際協会100周年事業への取り組みと会員増強について今やるべき事の提案、それ



会場に響くL加藤玲名のヴァイオリン

には役員だけではなくて会員全員で解決しよう、ライオンズの奉仕活動への認識を新たにすものとなりました。合同例会の中で千葉ネオライオンズクラブに2名の新入会員が入会し、地区ガバナーより歓迎のピンバッチをいただきました。そして、1ゾーン ゾーン・チェアパーソンL吉田隆憲のゴングで閉会となりました。

懇親会は、千葉ネオライオンズクラブ会長L白井正一の司会でスタートしました。千葉ライオンズクラブ幹事L加藤玲名のヴァイオリン演奏のち元地区ガバナーL霜禮次郎の乾杯の音頭で食事歓談となり、ガバナーを囲み壇上にて各クラブ記念撮影をしました。瞬間に時が過ぎ、千葉東ライオンズクラブ会長L北村直昭の閉宴の言葉で終了となりました。レガシープロジェクトの支援金集めも行い、6Rとしてとても充実した公式訪問でした。

(6R ー I Z H Z C L 吉田隆憲)



声高らかにライオンズ・ローア



Report



ガバナー公式訪問7R合同例会報告
仲良くりジョンで力を合わせて……活発な意見が交わされた懇談会
 10月15日(土)／会場・市原市市民会館

7リジョンのガバナー公式訪問は、10月15日(土)、市原市市民会館を会場として開催致しました。当日は、地区ガバナーL松本幸史、第二副地区ガバナーL木村英俊、キャビネット幹事L石川良和、キャビネット会計L白幡進ほか9名の方々がおいでくださいました。

私達市原のライオンには、L松本幸史地区ガ



前列に並んだキャビネット役員

バナーについて忘れられない思い出があります。今から5年前、東日本大震災直後、当時の地区ガバナーL竹下徳永と市原のライオンが大勢で被災地の旭へ支援に行きました。これ聞きつけられたL松本幸史は、現地に駆けつけてくださり一緒に支援活動に参加してくださいました。

この時以来、私たちはL松本幸史に対して、特別な親しみと尊敬の気持ちを持っておりま

す。また、市原はその昔、上総の国の「国府」が置かれた所であり、会場の市民会館周辺は、その上総国府の置かれた中心的な場所と言われています。この地にガバナーをお迎えしたことも私たちにとりまして大きな喜びです。

最初の三役懇談会では、「高齢化・過疎化の現実の厳しさ」「会員増強も大切であるが、会員の維持も大切」「仲良くりジョン全体で力を合わせていきたい」等々活発な意見が交わされ、もう少し時間がほしいと感じたほどでした。

合同例会では、地区ガバナーから3331C地区の現状としての会員減少とそれに伴う活力の減少に対する懸念、その改善についての取り組み等、今やるべきことの提案について熱く語られ、ガバナーの3331C地区の改善を会員



ガバナー方針について熱く語る地区ガバナーL松本幸史

全員で取り組んで行くという強い思いが伝わったと思います。

今回の公式訪問では、ご不満を感じられたかも知れませんが、その一方で「ガバナーと気持ちの通じ合った良い意見交換ができた」というご意見もいただきました。各クラブの活動内容についての資料も作り、他クラブの活動内容についての理解もできたと思います。このようなことから公式訪問の本来の目的は達せられたのではないかと思います。

今期中はこの後、ゾーン・チェアパーソン例会訪問、新入会員研修会、リジョン親睦ボーリング大会と行事が続きますが、リジョン全体で気持ちを合わせて取り組んでまいりたいと思います。

(7R12Z HZC L竹下怜子)

Report



ガバナー公式訪問8R合同例会報告

力作、感動のイルカとカモメのオブジェでお出迎え

10月8日(土)／会場・ヒルトンホテル成田



イルカやカモメのオブジェの製作者・L林和意にバナープレゼント

2016年10月8日(土)ヒルトンホテル成田にて、8リジョン地区ガバナー公式訪問が行なわれました。

クラブ三役懇談会議において、各クラブの会長から現況や方針、活動予定などを報告し、地区ガバナーL松本宰史から100周年記念事業について、会員増強の必要性や、女性会員増強、家族会員の増強など地区ガバナー方針をクラブ



地区ガバナーL松本宰史の方針説明



富里高校の在校生・OBによる合同演奏



参加したキャビネット役員

ガバナーのために作ってきて展示してあることに、地区ガバナーL松本宰史も喜んでいただき、L林和意に特別なガバナーのバナーがプレゼントされました。

懇親会でも、一つ目のアトラクションとして四街道順天ライオンズクラブの所属でサンブステップスレオクラブがミュージカルを披露して、場内から喝采を浴びてい

三役に伝え意見交換も含めて有意義な会議となりました。

合同例会では、地区ガバナーL松本宰史挨拶の中で、各クラブの会員に向けてガバナーの在り方を頂戴し、富里高校の在校生による「マッドハッターズ」と卒業生による「ハイノーツジャズオーケストラ」の合同演奏で、華やかで活気のある懇親会となりました。

皆様ありがとうございました。ライオンズ・ローアは、下総ライオンズクラブ会長L櫻井美恵子の「それでは、みなさん、肩幅に足を広げて」と元気な声でやっていただきました。場内に元気と活気を与え、笑顔がこぼれる締めくくりとなりました。

(8R-1Z HZC L金箱英一)

した。

今回は、3ゾーン ゾーン・チェアパーソンL林和意が多数のイルカやカモメのオブジェを



Report



ガバナー公式訪問9R合同例会報告

10月23日(土) / 会場・ヒューマンプラザ黄鶴
会員増強がなければ何も出来ない……皆んなで考え皆んなで汗をかこう!

ライオンズクラブ国際協会333-C地区
 9リジョン地区ガバナー公式訪問合同例会が、
 10月23日に旭市ヒューマンプラザ黄鶴にて、
 268名の参加により開催されました。

当日は、地区ガバナーL松本宰史、第一副地
 区ガバナーL高橋克文、第二副地区ガバナー



別れを惜しみつつ「また会う日まで」

L木村英俊はじめ地区名譽
 顧問元地区ガバナーほか、
 地区役員の皆様を迎えて開
 催されました。

第1部は、地区ガバナー

公式訪問クラブ三役会議

第2部は、地区ガバナー

公式訪問合同例会

第3部に、地区ガバナー

を囲む懇親会と3部に分か
 れて行われました。

第1部は、地区ガバナー

L松本宰史の挨拶及び地区運営方針について話
 されました。

特に会員減少に危機感を持たれ、色々原因が
 あるが、抜本的な改革と斬新的な対応が必要で
 あり、ガバナー方針を例会で、ワークショップで、
 全員の力を発揮願いたいとの要請がありました。
 その後、各クラブ会長より現況報告が行われ
 ました。

第2部は、公式訪問セレモニーの後、各ゾー
 ン・チェアパーソンの報告があり、続いて地区
 ガバナーL松本宰史より地区運営方針を話さ
 れました。特に会員増強がなければ何も出来な
 い、地区はクラブがあつて成り立つ、クラブ活



役員・会員の受付会場



会場看板

性の為、皆んなで考え皆んなで汗をかいてほ
 しいとの要請がありました。

続いて記念品の贈呈、幹事報告、会計報告と
 続き、LCIF\$1000 献金協力者22名へピ
 ンの贈呈が送られ閉会しました。

第三部は、地区名譽顧問元ガバナーL笹本瞭
 より日頃の協力に対し、お礼の挨拶がありまし
 た。その後、地区名譽顧問元地区ガバナーL長
 島彪による乾杯の挨拶により宴会となりました。
 た。宴会中18クラブによるクラブ毎の地区ガバ
 ナーL松本宰史を囲んでの記念撮影を行い、な
 ごやかな内に親睦を深め、別れを惜しみつつ閉
 会しました。(9R-3Z ZC L勝部 進)

Report



ガバナー公式訪問10R合同例会報告

感動、感激、感謝のよーそろー

10月29日(土) / 会場・木更津ビューホテル

希望あふれる海原 奉仕の帆を上げ 新たな百年へ よーそろーのスローガンをかけ、10月29日(土)に地区ガバナーL松本宰史が1ゾーン、2ゾーン合同例会を訪問され、10リジョンの地区ガバナー公式訪問は全て完了いたしました。会議に先立って小雨模様の曇り空



全員でローアを



本年度運営方針を熱弁の地区ガバナーL松本宰史



新入会員が揃ってライオンズの誓いを

の中、市内太田山にて、桜の木を記念植樹されました。その後、キャビネット役員との打合せを行い、次いで合同例会が開催されました。10リジョン9クラブの各会長が現況を発表報告した後に、地区ガバナーL松本宰史の挨拶と詳細な説明があり、地区ガバナーのメッセージが力強く感じられました。入会式では、10名の新入会員のなか、当日は7名の出席者で無事ライオンピンをガバナーより授与され、10リジョンメンバーの皆さんの前

で宣誓も終わり晴れてライオンとなりました。会員増強についてはガバナー方針に基づき、さらに会員増強に邁進しつつ着実に活動すること、ライオンズクラブの活性化になることを明確に伝えられたと思います。例会後に地区ガバナーを囲む懇親会が開催され、会員と親しくお話しされ、最後にはほろ酔い気分のなか皆で手を固くつなぎ「また逢う日まで」を斉唱して盛会裡にて閉会しました。
 (10R-1Z HZC L鈴木庸夫)



Report



ガバナー公式訪問11R合同例会報告 地区ガバナーL松本宰史11Rに凱旋! 11月5日(土)／会場・勝浦ホテル三日月



房総勝浦ライオンズクラブ3名の入会式、会員数は101名に!



ガバナーを囲んで房総勝浦ライオンズクラブのダンスタイム

11月5日、午後1時半より最初にガバナーチームとリジョンの三役との懇談会を実施。最初に1ゾーンのゾーン・チェアパーソンL秋山光章よりキャビネット役員紹介がありました。次に1ゾーン、2ゾーンの順に各会長から自己紹介と幹事、会計の紹介をいただきました。続いてホストゾーン・チェアパーソンのL平林昇より挨拶をさせていただきました。

地区ガバナーL松本宰史より挨拶をいただき、地区ガバナーとの意見交換会に。最初に各

間での質疑応答にて終了。

午後3時より合同例会開始。地区情報委員のL高橋健二の進行のもと、開会宣言を館山中央ライオンズクラブ会長代行L野口明行が元気よく宣言。その後の開会ゴングの際に壇上にゴングが無いというハプニングがありました。その後は順調に推移。今回の訪問のメインイベントの房総勝浦ライオンズクラブへの3名の入会式がガバナー

族会員計画 四、今期のACTの予定 五、YCE生受け入れ、派遣予定について 六、会員20\$献金について 七、MJF予定者について 八、地区100周年レガシプロジェクト献金予定についての順で報告が行われました。

その後、報告に基づいてガバナーと各クラブ

ゾーン・チェアパーソンより事前にクラブからいただいた報告書を1ゾーン、2ゾーンの順で読み上げ紹介しました。

報告内容は

一、在籍会員数(会員種類別) 二、クラブ毎の100周年事業計画の予定 三、会員増強・家族会員計画

にラペルピンのプレゼンターとしてお手伝いいただき、180名弱の出席者が見守る中無事終了しました。新たなメンバーを迎えて活気ある雰囲気の中にゾーン・チェアパーソンL秋山光章の閉会ゴングでセレモニーは終了しました。

懇親会は南房総ライオンズクラブ会長L井澤一昭の名司会で開始。鴨川雛ライオンズクラブ会長代行L粕谷京子の開宴の言葉、アイバンク協会理事長L岡野正義の講話をいただいた後、第一副地区ガバナーL高橋克文の乾杯。余興は地区FWT委員のL加藤玲奈によるヴァイオリンの演奏で大いに会場が盛り上がりました。第二副地区ガバナーL木村英俊によるローアで締め、鴨川ライオンズクラブ会長L高橋清一郎の閉会で無事終了しました。



各クラブと積極的な意見交換が行われました



合同例会へ第5会則地域副リーダーL長澤千鶴子も加わり、いざ入場!

(11R 12Z HZC L平林 昇)



Report



ガバナー公式訪問12R合同例会報告
100周年プロジェクトは7クラブ一致団結で！
10月30日(日)／会場・ホテル一宮館

12リジョン地区ガバナー公式訪問合同例会
が、10月30日(日)芥川龍之介ゆかりの宿ホテ
ル一宮館にて開催されました。



楽しい懇親会



真剣に検討する三役会議



女性会員増強について力説するL長澤千鶴子



合同例会全景

松本宰史をはじめFWT第5会則地域副リ
ダーL長澤千鶴子、第一副地区ガバナーL高
橋克文、第二副地区ガバナーL木村英俊、地区
名誉顧問・元地区ガバナーL岡野正義(千葉
県アイバンク協会理事)、キャビネット幹事
L石川良和、キャビネット会計L白幡進、地区
GMTコーディネーターL本田眞一、ライオン
ズ100周年コーディネーターL土屋英雄の皆
様をお迎えし開催されました。

三役会議で恒例のプロジェクトを使い、
ワークシヨップにより会員減少の打開又は増強
について、「正会員純増各クラブ1名必達」家族
会員のさらなる増員とガバナー方針を再確認さ
れました。

三役会議では、L長澤千鶴子より女性会員の
増強について今なぜ女性会員増強をしなければ
ならないのか、世界の女性会員について、そし
て日本では、得々と力説されました。

L岡野正義からは、後にも先にも12リジョン
より1人だけの故地区名誉顧問L秋場寛初代ア
イバンク協会理事と吉野正三事務局長の、ア
イバンク協会が現在に至るまでの労いの言葉
や、地区GMTコーディネーターからは、会員
増強の話なら、何時でも何処でも飛んでいくと
力強い言葉が有り、ライオンズ100周年プロ
ジェクトは12リジョン7クラブで一致団結して
事業に取り組んでいきたいと思えます。

(12R-11Z HZC L近藤正彦)

カンボジア・シエムリアップでの 学校建設事業支援の経過報告



(上) 校長先生らから、中学校建設の説明を受けるシエムリアップ・アンコールワットライオンズクラブの元会長シサムナン
 (中) 壊れかけている中学校の門柱と雨でどろどろの校庭の様子
 (下) 取り壊しが予定されている旧校舎(左側)。新校舎はこの旧校舎の敷地を使って建築されます



千葉県ライオンズクラブ
 カンボジア支援プロジェクト
 (CLCP)

会長 シサムナン 宏高

2016年度第1回キャビネット会議にて「100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト」として、カンボジアにおける学校建設事業支援の方針が決定されました。アンコールワット遺跡のあるカンボジア・シエムリアップには、私がガイディング・ライオンを務めさせていただいたシエムリアップアンコールワットライオンズクラブがあります。

今般、このクラブより、シエムリアップ市内にあるポーバンテアイチエイ中学校において、5教室1棟と、トイレ8個の建設を校長から懇願された、との要請が来しました。

そこで、私は2016年10月9日、実際にこの中学校を見て参りました。

校長先生の説明では、ワット・ア・トヴィエ小学校とポーバンテアイチエイ小学校からの生徒が通う中学校で、現在校舎は2棟10教室あるが、現在教室として使用出来るのは4室だけである、とのことでした。

実際に行ってみると、2棟のうち、1963年に建てられた方の校舎(1棟3教

333-C地区 100周年レガシー・プロジェクト



333-C地区が建設予定の「ポーバンテアイチエイ中学校」見学会の参加者



室)は老朽化しており、使用不能となっていました。生徒数は現在390名ですが、毎年10%増加しているので、近い将来教室が足りなくなるので、現在使用されていないこの校舎を壊し(その作業に\$4,000ほど掛かる)、新たに5教室の校舎1棟とトイレ8個を建てて欲しい、とのことでした。

建設予算は現段階では未定ですが、およそ9万ドル程度ではないか、とのことでした。ただし、視察した日は雨だったせいか、校庭の中はドロドロでぬかるんでいましたし、門柱も再築が必要と思われました。したがって、校舎の建設以外にも資金が必要です。

なお、中学校の建設にはLCIFからの資金援助も必要ですので、来年4月末までには建築業者から複数の見積もりを取ったうえで、LCIFへの申請を行う必要があります。

幸いなことに、ライオンズ百周年コーディネーターの土屋英雄からも、多くのクラブがカンボジアにおける学校建設に理解を示してくれたとの報告を受けております。

以上、経過報告をさせていただきますとともに、多くのクラブが学校建設に多大なご寄付をいただいたことに、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



2015～2016年度YCEレポート 夏期来日生受け入れ・夏期派遣生報告

地区YCE委員会

YCE夏期派遣・受入を終了して

地区YCE委員長

L椎名 重基



今期も、恒例の複合地区の夏期アクティビティが無事終了いたしました。今年度は複合地区では14カ国より25名来日生があり、そのうちC地区が7カ国7名を受入、第1ホストファミリーに落ちつき日本での生活を体験し約20日前後を過ごしました。滞在期間のなか

で7泊8日のサマーキャンプが、今年度担当地区となったD地区群馬県の赤城山を中心に、各地区YCE委員及びOB・OG生の協力のもと始まりました。世界遺産富岡製糸場はじめ、県庁展望台等の施設を見学したりカルチャー体験をし、無事第2ホストファミリーに引継ぐことが出来ました。8月16日を最後に来日生は全員無事帰国いたしました。受入に協力をして頂いたホストクラブ・ホストファミリーには大変感謝いたしております。

派遣生についてはC地区では、6名をMD4をはじめ4カ国へ派遣しました。英語圏への派遣を希望していましたが、やはり日本

の英語力の不足をしみじみ味わったようです。派遣期間は20日～37日と国によって違いはありますが、楽しいキャンプも経験してきたように報告会において受けております。

今現在、冬期派遣生2名のオリエンテーションを実施しておりますが、冬期来日生の受入家庭も確定しつつあります。またC地区においては派遣生の多くがOB・OG生の組織が確立されており、他地区と比較しますと来日生等に対するキャンプ等の協力的体制が充実しており、YCE委員会にとっても感謝に堪えません。今後とも派遣・受入に対するYCE活動にご協力をお願いいたします。



レオ夏期研修会報告

地区青少年育成・レオ委員長

石井 秀雄



レオ夏期研修会は7月30日31日の1泊2日、船橋港に浮かぶ元南極観測船「しらせ」に於いて行い

船上での夏期研修

レオ地区会長

山谷 智子



かつてこれほどの船があったでしょう。23回の航海で22回も南

ました。テーマは防災です。レオ40名、地区ガバナー石井松本幸史始め多数のライオンにご参加いただきました。開会式の後、海上自衛隊教官4人による熊本地震の救助活動、福島原発冷却作戦の報告を頂きました。怖い危険な現場でした。その後1時間、南極観測船「しらせ」の船内見学。氷を割りながら南極大陸へ20数回通った艦長と乗組員3名による説明に歓心。気象観測や隕石採取等で地球の成り立ちや歴史が解ります。夕飯は甲板にて海軍カレー。天候良好、

極に接岸成功した観測船が——船橋港に係留されている「しらせ」は日本の3代目の南極観測船で、初代「宗谷」、2代目「ふじ」に比べて大幅に砕氷能力が強化され目を見張る活躍がありました。そんな立派な役目を果たした船の上で、2016年度333-C地区レオ夏期研修が行われました。7月30日、太陽の光もまぶしいこの日、30人のレオが「しらせ」に集まりました。船内は航行当時のもので数多く残されており、美

ディズニールランドの花火も見えました。その後テントの中の大きな災害時用仮設風呂2個にびっくり。海上自衛隊士官用2人部屋にてゆったりと宿泊。2段ベッドソファ付きです。翌日午前中、L高瀬幸次による浴衣着付け教室、講習会と楽しかったです。浴衣、ばか面、かりんとう等のお土産に大喜びしました。船橋海洋少年団、自衛隊、しらせ、船橋市役所、サツポロビール等々、皆様の多大なるご協力に大感謝申し上げます。

容室や抜歯専用の治療室といった部屋まで展示されています。また、直角な階段や複雑な通路になっており、迷子になるレオが続出。かくいう私も階段を上ったり下りたりとウロウロすることがしばしばありました。荷物を置いたら海洋少年団と同の開会式です。この2日間は海洋少年団の関東大会も開催されており、白い上下の服に身を包んだパリッとした姿の海洋少年団の皆さんはとて凛々しかったです。



開会式の後、レオ地区協議会を実施。地区青少年育成・レオ委員長のし石井秀雄からは、船上ということである生活を送ってみることでいろいろな「気づき」を持って帰ってほしいというお話があり、私、し谷川智子からは今期の地区スローガンとして、状況を観察し自分で判断する力、「考動力」を持って一歩ふみだす力を養う一年にしようというお話をさせていただきました。

「しらせ」での研修は、自衛隊や船橋市、サッポロビール、そして

コラム Column

あらためて…YCE

(Youth Camp Exchange)とは、

1974年の国際理事会で採択された青少年交換規定に基づいて実施されている奉仕事業です。ライオンズクラブは、次世代を担う若者たちに広く世界を体験させることが、地球の平和を永遠に維持する原動力だと考えています。派遣受入ともに単一の各クラブが実施しますが、このYouth Camp Exchangeは若者を育てる最大のアクティビティです。

国際理事会が1961年に初めてYCE (Youth Exchange) の実施を決定し、神

ライオンズクラブといった沢山の方々のご協力のもと実現しました。自衛隊の皆さんからは、東日本大震災での体験から日常気をつけることなど防災についてのお話を頂き大変勉強になりました。また、夕ご飯のカレーやお風呂の準備等にもご尽力いただき、特にお風呂については数人が同時に入浴できるようなしつかりしたもので、予想以上と驚くとともに、災害時にはこういった衛生面が重要になってくると学んだレオ達でした。

戸ライオンズクラブとアメリカカ4複合地区(カリフォルニア州、ネバダ州)が夏期学生を交換し、成功を収めたのが始まりとなっています。

YCEの目的

1. 日本と海外の青少年が親しく接する機会を与える。
2. 異なった文化背景を持つ社会での日常生活を経験する機会を与える。
3. ライオンズを通して国際理解と親善を促進する。

第二次世界大戦が終わって間も無い1961年当時は、今とは違い、外貨もままならず、戦後の復興が進んでいた最中でした。全世界が平和を手にした1945年

翌日はシニアライオンズクラブや皆さんかライオンズクラブの方々より、浴衣の着付けや船橋の「ばか面踊り」を習いました。中国から来たレオには特に楽しんでもらえたようです。

研修中はお互い助け合いながら学び、とても有意義な夏期研修になりました。このような機会をいただき感謝しますとともに、今後ともライオンズクラブについて変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

から16年後のことでしたが、その間に朝鮮戦争などがあり、平和がいかに難しく、何世代もの代償が必要かを考えさせられる時代になりました。

このような時代背景の中で、ライオンズクラブは青少年の交換を計画し、国際協会はその事業達成を援助したのです。

今も世界は戦争と平和や環境問題・貧困・飢餓・病苦・暴力その他、様々な困難に直面しています。直ちに解決する事は不可能ですが、青少年交換を通じて互いを知り、理解する事がこれからは必要とされています。

(337-D地区のホームページより)

夏期YCE派遣生レポート

exchange

派遣先・オーストラリア
野田ライオンズクラブ

はじめての
オーストラリア

金剛寺桃子

私は、今回7月21日～31日に
キャンプ、8月1日～26日まで
オーストラリアにホームステイし
ました。

キャンプでは世界各国から35人
くらい集まりましたが、アジア人
はたったの5人。台湾、香港、日
本(私含め3人)。ヨーロッパから
の派遣生が殆どでした。



ヨーロッパからの派遣生はイタ
リアが多く6人、オランダが3人
と1か国から沢山くるのではな
く、実に様々な国から集まりまし
た。キャンプ場にて、このキャンプ
に日本人が参加したのは初めてだ
と言われました。英語があまり得
意ではないアジア人があまり参加
しない為でしょうか、第二外国語
といえどネイティブに引けを取ら
ないヨーロッパの学生向けのキャ
ンプという印象を受けました。
説明も注意も日常会話もなにも
かも手加減無しのネイティブス
ピードの英語で行われ、理解して
いるものとして話されます。耳を
澄まして頭をフル回転して、やっ
と理解できるといふ程でした。英
語の勉強が好きで、決して英語に
苦手意識を持っていた訳ではあり
ませんが、彼らの英語力が
あまりにも違い、思っている事を
100%伝えられないことに対し
悔しく思ったと共にその違いを突



きつけられ、もっと頑張ろうとい
う意欲に繋がりました。
日にちが過ぎていくうちに彼ら
と仲良くなり、楽しく世間話をす
る仲になることが出来ました。数
人とは、帰国後の今でも連絡を取
るほど、親密になりました。
日本においてヨーロッパの方々と
知り合える機会は決して多くはな
いので、私にとつて貴重な体験で
あり、親しくなれたことを嬉しく
思います。キャンプが終わり別れ
る際は殆どの派遣生と共に涙の別

れになりました。
キャンプ後の4週間のホームス
テイでは沢山の事を学びました。
75歳、82歳の老夫婦が私のホスト
ファミリーでした。とても優しく
私が1聞いたことに対して10で
返してくれるような方々でした。
オーストラリア独特のスラングが
知りたい、どこに行きたい、これ
どこに売っているか、この文法はど
う使うか、この言い回しはどんな
ニュアンスに伝わるか等々、生活の
事からわたしの勉強の事まで様々
なことのできる限り答えてくださ
いました。また私の英会話におか
しな所があったら指摘してほしい
とお願ひして、日々を英会話のレッ
スンのようにしていただきました。
英語教育に興味があり、将来は教
員を目指していると伝えたら、地
元の小学校、高校など訪問できる
よう掛け合ってくれました。残念
ながら、あちらの学校がテスト期
間で忙しく、訪問することは出来



ませんでしたがお孫さんの保育園は見学することが出来ました。

オーストラリアの教育について質問するとたいへん詳しく答えてくださったので、教育関係のお仕事に携わっていたのかと尋ねたところ、なんと2人とも高校の教師をしていたのです。

このように環境にも恵まれた私はオーストラリアの基礎教育、外国語教育からカリキュラムまで様々な知識を得ることが出来ました。そしてホストファミリーにあなただは賢く、英語が好きで海外にそんなに興味があるなら、オーストラリアで日本語教師になる道も考えてみたらと提案されました。そしどの都市が日本語教員を募集しているか、公立と私立の違いなどもお話ししてくださいました。

このアドバイスは日本での英語関係の仕事しか考えていなかった私に、将来に対し急に視野を広げさせるような、とても良いものになりました。

この家庭での派遣生の受け入れは私1人であり、子供さんたちもいなかった為、多くの時間会話ができ新たな発見をし、沢山のこ

を教えていただけで大変実りあるホームステイになりました。

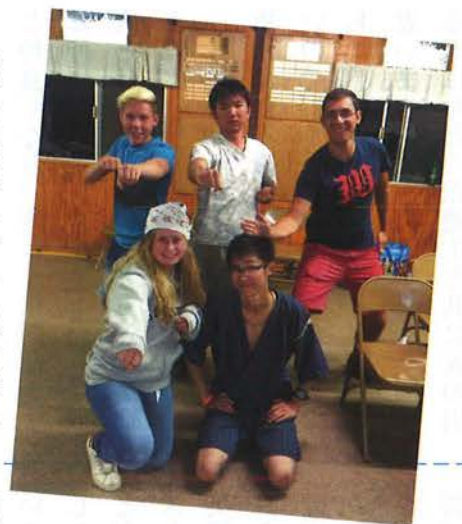
オーストラリアでのライオンズクラブの活動についても聞くことが出来、日本のライオンズクラブの活動についても大まかにではありますが、お話しすることが出来たので派遣生としての役割を果たせたのではないのでしょうか。

最後になりますが、このような素晴らしい機会を与えてくださった皆様に深く感謝いたします。

派遣先・MD4
柏中央ライオンズクラブ
**海外へ出て感じた
日本の素晴らしさ**

高田 空也

私の今回のアメリカでのプログラムの日程はホームステイを1週間して、キャンプを1週間し、2件目のホームステイを1週間する合計3週間の生活でした。1軒目のホームステイではベルギー人の派遣生と一緒に、とてもなかよくなり、今でも連絡を取り合っています。



私が今回のプログラムで気づいたことは2つあります。1つ目は日本人であることへの誇りです。

私は今回海外へ出るのが初めてで、すべてのことが人生初でした。そこで心がけていたのは言語が通じなくても文化が違っていても、日本人らしくいるということです。友達の荷物を場に応じて持ったり、道を譲ったり、こぼし浮かして1人分の席の空間をつくったり、日本で当たり前に行っていることを、アメリカの雰囲気になれないよう日本人を主張するかのように行っていました。ヨーロッパの友達やホストファミリーは「Kuya, you are good boy!」「Because he is Japanese.」

親、今まで関わってきた方々、日本国に改めて感謝したいと思いましたが。

これは誤解を招いてしまうかもしれませんが、外国では基本的に自分中心であり、レストランで一口ずつわけあったり、いわゆるまでは人にものを貸したりあげたりはしません。文化の違いではこれが一番苦しかったです。しかし過





ごしている間に第一に他人のことを考えるという日本の文化は、素晴らしいものだけでも自分への自信を掻き消し、疲れさせている原因ではないかとも思いました。

2つ目は自分は人が好きだということですが、このことは後半になつて気が付きました。私の英語は普通に生活するくらいのレベルしかありません。政治の話や趣味の踏み込んだ話などには入ることができず、ただ聞いているだけでした。そこでの友達の笑顔や考えている顔を見て、英語をどうして話せるようになりたいと思う自分がありました。身振り手振りで紙に書いてでも足掻くかのようにコミュニケーションをとろうとする自分に気が付き、それほど人のことが好きなんだと思いました。

人がつくりだす笑顔という名のパワーは言語を超えます。話がわからなくてもホストファミリーの笑顔は私の心に安心感をあたえてくれました。遊びを通じての友達とのバカ笑いは言葉が通じない分、心から笑うことができました。

これらのパワーをくれた方々に、また、私の大好きな「人」のために日本人として将来は世界で活躍し、恩返しをしたいと思えます。

このように私が志せるようになったのも今回のプログラムがあつてこそです。関わってくださった方々に感謝します。ありがとうございました。

最後に、私が一番驚いたのはベルギー人は食事中に飲み物を飲まないということですが。

派遣先・アメリカ
ウイスコンシン
柏中央ライオンズクラブ
ホームステイをして
實川 愛理

私はアメリカのウイスコンシン

州に行きました。

最初の3日間はユースキャンプに参加し、色々な国の人々と交流することができました。そこでは世界各国のオリエンテーションを聞いたり、レクリエーションをしたり貴重な体験をすることができました。

3日間のキャンプを終えホストファミリーと合流しました。私のホストファミリーは、父のジョーと母のカトリーナ、娘のライリーと犬のルーシーの4人家族です。

ファミリーズマーケット、リサイクルショップ、ペイントハウス、湖やゴルフ、ウォーターパークや父ジョーのソフトボールチームの試合を見に行ったり、沢山の場所に連れて行ってもらいました。

最も印象的だったのはウォーターパークです。ウイスコンシンデルスのウィルドネスリゾートという所に行きました。とても大きいウォーターパークで室内プールと野外プール、ゴーカートやゴルフ場、ホテルなどがあるリゾートでした。

様々な種類のウォータースライ

ダーがあり、中でも驚いたのは、自分の立っている床が抜けて下に落下するタイプのウォータースライダーです。あまりにも怖そうでは私に乗ることができませんでしたが乗っておけばよかったと少し後悔しています。

アメリカでの食事は、朝食はほとんどシリアルでお昼は外で食べたり、夕食は庭でグリルしたお肉をハンバーガーやホットドックなどにして食べていました。

中でも一番多かったのがピザで、アメリカのピザは1枚500円程度でとてもビッグサイズでした。

食事で一番驚いた事は、ピクルス用の小さいキュウリにチョコレートクリームをつけて食べていたことです。私も一口もらいましたが、とても不思議な味がしました。日本では考えられない組み合わせで驚きました。

パスタはフォークに巻いて食べるのではなく、ナイフで細かく刻んでからフォークですくって食べていました。

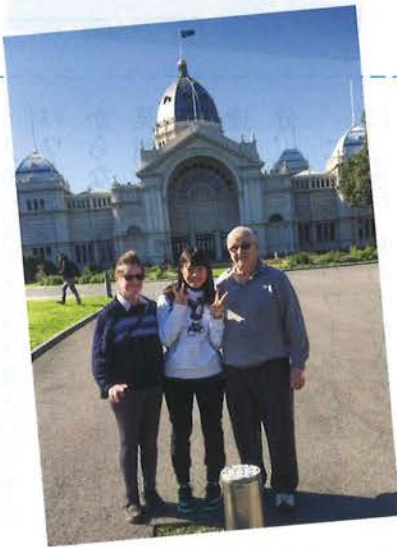
ウイスコンシン州は夏でもカラッとしてとても涼しく過ご



しやすかったです。日がとても長くて、夜の9時くらいからようやく暗くなるという感じでした。自然もとても豊かで道には野生のタキーがいたり、庭にはよく野生のリスやウサギが遊びに来たりしていました。

また、ウイスコンシン州は飲酒運転がOKで、泥酔するまで飲んではいけませんが、少量なら良いらしく、それも特に量が決められていないわけではないので本人のさじ加減だそうです。父のジョーは3杯まで平気で、母のカトリーナは1、2杯までだと言っていました。日本ではそのようなことはあり得ないのでとても驚きました。最後に、私はこの留学を通して文化や生活習慣の違い、また物事をはっきり伝えることの大切さを学ぶことができました。

貴重な経験をさせていただいて、ホストファミリーにとっても感謝しています。日本でもこの経験を活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。



派遣先・オーストラリア 四街道中央ライオンズクラブ 家のすぐ近くにも 野生のカンガル

松戸 響子

私は8月2日から8月27日までオーストラリアのメルボルンへ行ってきました。

今回オーストラリアに行くまでは英語が通じるのか、ホームステイ先の家庭の人とうまくやっていたのかどうか不安もたくさんありました。

でもいざ行ってみるとホストファミリーが笑顔であたたかく出迎えてくださり不安はすぐに消えました。そしてライオンズクラブの人たちもたいへん優しく出迎え

てくれました。

毎日行く場所の計画を立ててもらい、私が喜ぶようにたくさん場所へ連れて行ってくれて毎日がとても楽しかったです。

ある日は、メルボルンの都市部に連れて行ってもらい、メルボルン博物館でアポリジニの歴史について学び、訪れる前よりもアポリジニについて詳しくなりました。動物園にも何度か連れて行ってもらい、日本では見たことのない動物がたくさんいました。

私は動物と近くで触れ合うことができるという視点から、オーストラリアのフレンドリーさを垣間を見ることができた気がしました。

そして家から数分の所に野生のカンガルがたくさん生息していた事にとっても驚きました。

またある日は、ホストファミリーに日本料理を食べてもらいたいと思ひ、照り焼き丼を作りました。料理はあまり慣れていなくて、迷ったりあたふたすることも多く、少し迷惑をかけたりのりだったので家で練習をして、今度行く時にはたくさん作ってあげたいです。



今回の派遣で一人で外国人と会話したり外国の映画を見たり、一人で料理をするなど、初めてのことがたくさんありました。今まで挑戦する機会があつたけれど、手をつけていなかったり、後回しにすることが多かったことに気付かされました。

私は今まであまり自分の意見をしっかりと言うことをしてこなかったのですが、ホームステイをしてみて自分一人しかいなく、周りに頼る人が誰もいないという状況だったので、しっかりと自分の意見を言うことができました。

そして今まで頼ってばかりだったので、これからは自分のことは

自分でやり、今度外国へ行く時は今回の派遣のときより少しでも多く会話ができるようになりたいです。

このような大変貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。この派遣で感じたこと、考えたこと、学んだこと、一生忘れず、これからは活かしていきたいと思います。

今回外国に行ったことで日本ではやらなければならないことが沢山見つかったし、色々な面で成長することが沢山あったと思います。

派遣先・エストニア
銚子中央ライオンズクラブ
**絵本の中の世界に
いるような町並み**

根本 侑季

8月4日から3週間、バルト三国の北に位置するエストニアに行きました。エストニアは古き良き町並みが残るとも素敵な街で、私が想像していた通りの街でした。毎日街を歩いていると、絵本の中の世界にいるような気持ちに

なりました。エストニアは夏とは思えないほど寒く、またとても乾燥していました。そのため洗濯物が驚くほどよく乾いて、日本の気候とは大きく異なるなど感じました。

私は、ヨーロッパはどの国も英語が通じるものだと思っていましたが、実際は子供やお年寄りはもちろん、若い人も人によっては話せない人もいて、とても驚きました。街中を歩いているとベビーカーを押す男性が多く見受けられ、日本では平日の昼間にこのような光景を見ることはめったにないため、驚きました。

エストニアにはたくさんベリーの木やリンゴの木があり、おなががすくとその木になっているそれらをもいで食べていました。生まれて初めての経験で、また、とてもおいしかったです。

私の海外のイメージは誰もが宗教を信仰しているイメージでしたが、エストニアではおよそ14パーセントの人しか宗教の信仰をしていないということも驚きで、このような国があることを初めて知りました。

また、日本はとても安全な国だと思いますが、エストニアは日本よりももっと安全な国だと感じました。夜に女性が一人で歩いても問題がないと聞き、驚きました。エストニアは乾燥しているということもあり、ホストファミリーはあまりシャワーを浴びていませんでした。日本人の私からすると、とても衝撃的でした。また、白米に牛乳とジャムを入れているのを見て、日本人のコメの概念とは大きく異なるなど感じました。

日本を離れて、感じたことは、日本の大きな存在です。日本人でエストニアについて知っている人は少ないと思いますが、エストニア人で日本を知らない人は誰もい



ませんでした。みな、日本の政治や経済に興味津々でした。日本について興味を持っており、たくさん質問をしてくれたことがとてもうれしかったです。

今回エストニアに派遣していただき、ここには書ききれないほど多くのことを学びました。また、自分に足りないものを知り、自分を見つめ直すいい機会になりました。エストニアの方々のやさしさに触れ、日本の素晴らしさを再確認しました。このような経験ができたのはライオンズクラブの方々、ホストファミリー、支えてくださった皆様のおかげです。本当にありがとうございます。





夏期 YCE 受け入れ家庭・来日生りポート

Flora Uesseler

〈ハンガリー〉

◆ホスト

野田ライオンズクラブ

L 平井 正一

白井ライオンズクラブ

L 高城 靖雄

素晴らしい国・日本

Flora Uesseler

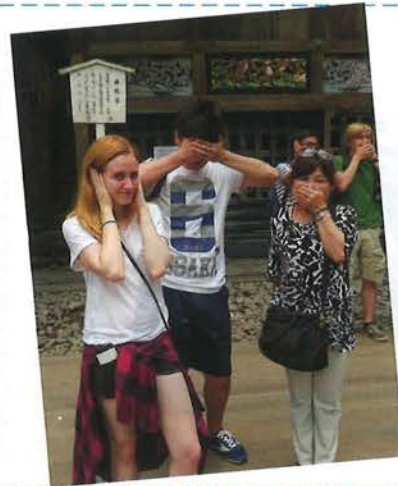
今回このような機会に恵まれたことに感謝いたします。

私は、日本について勉強していましたが、こんなに素晴らしい国とは思いませんでした。

歴史的建造物、日本食、文化のすべてが素晴らしい経験となりました。



今回の留学生活は、私にとって素晴らしい思い出になりました。



Luis Fernando
Badillo Mendez

〈メキシコ〉

◆ホスト

千葉ゆうきのライオンズクラブ

L 大久保雄子

佐倉中央ライオンズクラブ

L 上杉 房子

YE 生受け入れを体験して

千葉ゆうきの LC

L 大久保雄子

学校の勉強以外に外国語に触れることのなかった我が家が、ライオンズクラブの関根さんの娘さんと隣同士という関係で、今回ホストファミリーの話を受けることになりました。主人は現在中国の北京に単身赴任中。長男・予備校生 19 歳、長女・高校 2 年生 16 歳、次女・小学 4 年生 9 歳という家族構成の我が家は、留学生の年齢にも近く、子供達にも良い刺激になるだろうという事で楽しみにしていました。

メキシコからの留学生ルイスに
関しては、来日が1日早まるとい
うハプニングがありました。ル
イスはとても謙虚で誠実な男の子
だったので、いっぺんにファンに
なっていました。

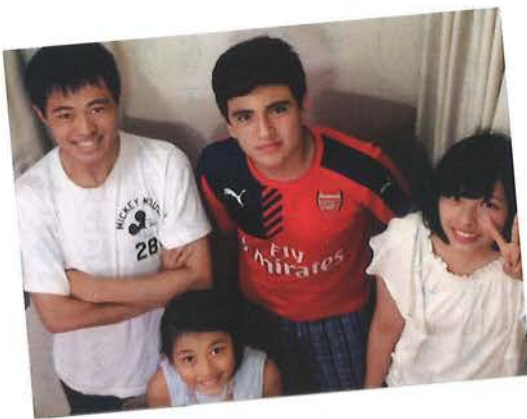
初日は我が家への到着が夜中
の1時だったのにもかかわらず、
子供達のテンションはMaxで、
部屋を案内したり、トイレやお風
呂、エアコンの使い方を教えたり、
メキシコについて質問したり
とても賑やかでした。特に長男は
私たちが寝てからも、ルイスと2
人遅くまで部屋で喋っていて、後
日、何をそんなに話していたのか
聞くと、お互いの国の事を話し、
お互いの国の紙幣やコインを交換
したんだ、と嬉しそうに言ってい
ました。

ルイスはあまり英語が得意では
なかった。スペイン語のでき
ない私達は、スマホの翻訳アプリ
やスペイン語の本などで積極的に
コミュニケーションをとり、日が
経つにつれずつと前からの友人の
ような、また時には家族のような
気持ちで接するようになりまし
た。

仕事が忙しい私に代わって、高
2の長女と小4の次女があちこち
連れて行ってくれ、夕方から私が
合流するという日々が続きまし
た。

7月23日(土) 足立区の花火
大会 土手に座り目の前で次々に
上がる大きな花火に心を動かされ
たようで、Facebookに動
画をアップしていました。

7月24日(日) 町内子供会の
流しソーメンに参加。薬味のネギ
やミョウガも美味しいとペロリ。
夕方からはお隣の大橋さん宅の庭
で近所の人沢山集まってバーベ
キュー。近所の同世代の子達にも
来てもらい、ゲームやポケモンの
話題で盛り上がりました。



7月25日(月) デイズニーラ
ンド。待ち時間で日本語の自己紹
介を練習。前後のお客さんが拍手
してくれました。

7月26日(火) 私の姉の家へ。
一緒に葛飾の花火大会。剣道の胴
着を着せてもらったりお琴を弾か
せてもらったり。

7月27日(水) 千葉城見学。お
抹茶にも挑戦。ライオンズクラブ
例会参加。立派に日本語でスピー
チできました。

7月28日(木) スカイツリー。
浅草では人力車を体験。

7月29日(金) ルイスの強い希
望でパンダを見に上野動物園へ。
秋葉原のヨドバシカメラも満喫。

7月30日(土) 鎌倉。大仏に

ビックリ。かなり暑く相当ばてて
いました。

7月31日(日) 9時、千葉駅。
ルイスと別れ、家に帰っても心に
ポツカリ穴があいたようでした。

ルイスがいらない寂しさの心の整
理が出来ないまま1週間。ライオ
ンズクラブのキャンプから皆が元
気に戻ってきました。ルイスとも
再び会え、記念撮影を。大事な1
枚となりました。そして、北アイ
ランドから来たエミリーとの出
会い。写真で見て想像していた女
の子よりも小柄で髪も短くなって
おり、とてもキュートな印象。エ
ミリーのプロフィールにピアノと
フルートが得意と書いてあったの
で、音楽が好きな我が家は会うの
を心待ちにしていました。

その日の夜は、近所の公園で盆
踊りがあったので、エミリーと一
緒に浴衣の買いに行きました。長
女の友達2人も合流して、皆で
踊ったりかき氷を食べたりしまし
た。エミリーは和服がとても似合
い、あちこちで「可愛い♡」と声
をかけられていました。家に帰っ
てからも同世代同士、夜遅くまで
恋愛話で盛り上がったようです。



8月8日(月) 長女の友達2人も一緒にドイツニーランド。待ち時間に日本語の自己紹介練習。

8月9日(火) 長女の友達2人も一緒に秋葉原。エミリーは日本のアニメが大好きなので、秋葉原の街に大喜び。メイドカフェに行ったり、コスプレをしてプリクラを撮ったりしました。初日にイオンの本屋に連れて行った時も、漫画コーナーに大興奮。背表紙をスマホで撮って母国の友達に送っていました。

8月10日(水) お隣の大橋さんが所属する吹奏楽団の練習にお邪魔しました。私はホルンで参加、エミリーは大橋さんにフルートを借りて参加しました。夜はライオンズクラブの例会に参加。浴衣で参加して綺麗な声で歌ってくれました。

8月11日(木) 土気のホテルファミリーの方と連絡を取り、レストランでランチ。ドイツからの留学生フィリックスとエミリーは、楽しそうに2時間英語でしゃべり続けていました。わざわざ時間をとってくださった花澤様には感謝の思いでいっぱいです。

夜はカラオケに誘ったところ、こちらの想像以上に喜んでくれ、素敵な歌声を沢山披露してくれました。アナと雪の女王の曲では、アナ役を次女が日本語で、エルサ役をエミリーが英語でかけ合いながら完璧に歌い上げ、圧巻のステージとなりました。ハードロック系もバリバリに歌っていましたが、ドイツニーの曲を沢山英語で歌ってもらったので、いまだにCMやお店でドイツニーの曲が流れると、エミリーを思い出して会いたくなってしまう。

8月12日(金) いよいよお別れの日。早めに出て酒々井のアウトレットでショッピング。成田空港では大橋ご夫妻とも合流して、最後の最後まで写真を撮ったりトランプをしたりして名残を惜しみました。

8月が終わろうとしている今、日常が戻って普通に今まで通り暮らしているのに、考えることはルイスとエミリーの事ばかり。今更ながらメキシコや北イングラランドについて調べたり、スペイン語や英語を勉強してみたり…。Facebookで繋がっている

るので彼らの動向が分かり、まるで我が子の様にアップされた写真を食べい入るようになって見えています。

いつかメキシコと北アイルランドに行つて成長したルイスとエミリーに会つてみたいです。

最後に、ホストファミリーの話を持ってきてくださった大橋夫妻、このような機会を与えてくださった関根さんはじめ、ライオンズクラブの皆様へ感謝申し上げます。

Monet Bredow

(カナダ)

◆ホスト

木更津金鈴ライオンズクラブ

〒天内くみ子

モネが我が家へやってきた

木更津金鈴ライオンズクラブ

〒天内くみ子

2016年7月25日午後5時成田空港到着ロビーに17才のモネはやってきた。

太もも、腕、胸元に入れ墨があり、車中で「カナダでは刺青はファッションなの」と聞いてみた

ら、学校ではほとんどの子がしているとのこと。ピアスのようなものなのかもしれない。イヤ日本人だけが刺青に過剰に反応するのかもしれない、と思う事にしてモネを迎えての我が家の夏休みが始まった。

2人の息子と娘の家族、姪の一家を巻き込んだのモネ歓迎大作戦が練られた。

長男が各人参加可能な予定を書き込めるようLINEを設定してくれた。

キャンプを挟んでの13日間お気に入りのピカチュウを求めて東奔西走の日々でした。

おばあさんがアフリカから奴隷としてカナダにやってきたという。アフリカのどこから?と聞いても「どこかわからない」というていたが、我が家で出会ったトゴ大使やコンゴ人、コートジボワール人たちに聞かれるたびに答えに窮していたが、やがてカナダのママにメールで聞いたところ、ケニアから判った。

17歳の彼女のおばあさんなので存命でも80歳くらいではなかったろうか。奴隷制度がこんな最近ま



日本の食事の量は多かったです。私の初日の朝ご飯

で存在していたことに驚いた。第2次大戦の混乱のドイツから、9歳で難民としてアメリカに一人でやってきたおじいさんと結婚し、2男1女をもうけたがやがて離婚したという。苦難の人生だったろうと想像に難くないのでそれ以上は聞かなかった。

あつという間の13日間でした。前半後半の一部ではなく全期間ホストにかかわれて本当に楽しい夏休みを共有できてよかったです。

ライオンズクラブの皆さま方、要所要所での細やかなご活躍には心から敬意を表します。またご縁をいただけましたことに厚く御礼申し上げます。

Emily Watson

（イギリス）

◆ホスト

鴨川ライオンズクラブ

L上條 長永

千葉ゆうきのライオンズクラブ

L大久保雄子

YE来日生りレポート

Emily Watson

2016年7月24日、22時間のフライトを経て、私は東京に着きました。

ライオンズクラブの方が車で、私のホストファミリー上條さん、サヤ、カツのところへ連れて行ってくれました。カツや犬のハナと

一緒に遊ぶのはとても楽しかったです。そして上條さんはとても歓迎してくれました。私の部屋には、テレビとバスルームがあつてビックリしました。

は量が多かったけど美味しかったです。

初日、サヤとカツは私を鴨川シーワールドに連れて行ってくれ、シャチと熱帯魚を見ました。

初めての日本の夜ご飯。床に座り、お箸を使って食べたのは感動しました。私達はパンケーキを作りました。楽しかった。

次の日、サヤは私を東京に連れて行ってくれました。明治神宮は驚きでした。私は歴史に興味があるので、私の為にバスツアーを計画してくれたことに感謝しています。皇居を見た後、お寺に行きました。そして日本の伝統的な歌舞伎を見ました。また、アニメストアに連れて行ってくれ、私はそこで友達にお土産を買いました。

ライオンズクラブの方は私が上條さんの家にいる間、外に連れ出してくれました。

富士山に行きましたが、残念ながら雲に覆われていました。アイスクリームを食べ、ジェットスキーに乗る為にビーチに行きました。速くてすごかったです。本当に楽しかった。あとお寿司を食べましたが、私は苦手に感じまし

た。ピーチとグレープジュースはとても美味しかったです。

上條さんの仕事場にも行きました。皆さんは信じられないくらいに優しく接してくれました。お父さんは東京に連れて行ってくれ、映画を見たり地下鉄に乗ったりしました。日本の伝統的な物が売っているお店にも行きました。そこは私のお気に入りの場所の一つとなりました。ゲームセンターに行き、そしてひらがなで名前が書かれたキーホルダーをもらいました。東京の夜は綺麗でした。

私は上條さんの家に滞在できたことがとても嬉しかったです。皆さんはとても優しく、私を孤立しないよう配慮してくれました。私は上條さんにとっても感謝しています。

7月31日からライオンズクラブのキャンプに行きました。私たちはホテルに向かいました。日本のガイドの方が素晴らしかったです。同じ年くらいの日本人がいてくれたのは良かったです。他の国の人と発表し合うのは楽しくて面白かったです。私たちが行った富岡製糸場はとても面白く、また、朝と



夕方に行ったミーティングは楽しかったです。

私達はゲームを楽しみ、日本の国歌を初めて聞きました。他の国の人たちとそれぞれの国について話したり、北アイルランドについて皆に伝えるのは嬉しかったです。

想像力を掻き立てる草木染はかなり面白かったです。そして星を眺めるのは楽しかったです。私はキャンプで素敵な友達を作ることが出来ました。Flora, Cristal, Monet, Felix, Gabbyです。言葉や文化の違いを話すのはとても楽しかったです。また踊った



第2のホスト

れました。彼女なしではキャンプは楽しくなかったでしょう。私はキャンプを去るのが寂しかったです。でも、そこで作った友達とまだまだ連絡を取り合っています。私は将来また彼らに会いたいです。

りキャンプファイヤーをするのもとても楽しかったです。他の国の音楽を聴き、いつも聞いているのとは違う歌を聴くのはかっこよく感じました。ブルーベリー狩りも素晴らしい、美味しかったです。

暑かったので、泳ぐのは一番楽しい事でした。リビングから私の部屋まで116段の階段があったので、体を良く動かすことが出来ました。

宿泊先が変わると、ライオンズクラブの方が英語を話せないのは困りました。でも、キャンプ中はナオが最高だった。彼女は常に皆のために働き、楽しませてくれました。彼女なしではキャンプは楽しくなかったでしょう。私はキャンプを去るのが寂しかったです。でも、そこで作った友達とまだまだ連絡を取り合っています。私は将来また彼らに会いたいです。

ファミリーは素晴らしかったです。

私と年齢の近い子が家族にいるのが良かった。私はカナエと彼女の友達を愛しています。カナエの友達とは言葉の壁がありました。が、私は何とか乗り越えました。そしてノンちゃんも愛しています。

私は着物が好きで、みんなで行った盆踊りは素晴らしかったです。私は日本の伝統的な踊りに挑戦しました。顔を可愛く見せるプリクラは楽しかったです。大久保さん一家は毎日楽しくしてくれました。

私のお気に入りの1つはデイズニールランド。小さいとき以来行ってなくて、全てのキャラクター、アトラクションはとても素晴らしかった。大久保さんは北アイルランドに興味を持ってくれ、私は自分の国の事を話すのが嬉しかったです。私はお土産を買い、デイズニールの素敵なパレードを観ました。

カナエは私が大好きな秋葉原に連れて行ってくれました。いくつかのアニメショップに入り、いく

つかのお土産を買いました。進撃の巨人のジャケットを着てコスプレを楽しみました。そして彼らは私に英語版の漫画をプレゼントしてくれました。またカナエは、「メイドカフェ」……変わっているけど素敵な場所……に連れて行ってくれました。メイドと写真を撮り、美味しいパンケーキを食べました。

大久保さん一家は、今まで行ったことのない「カラオケ」にも連れて行ってくれました。それはとても素晴らしく、そして楽しく、私は家族の一員になったような気がしました。また私は、ブラズバンドでフルートを吹きました。とても難しかったけれど楽しかったです。

ライオンズクラブの例会はみんなが歌うのが楽しかったです。大久保さんは、キャンプで友達になったうちの1人に会わせてくれました。そのことはとても感謝しています。

この家族と過ごしたのは短い間だったけれど、本当に楽しかったです。彼らと一緒にいた楽しさを、私は決して忘れないでしょう。

う。

終わりに

私は、愛すべき人々がいる美しい日本で楽しく過ごせました。



アメイジング・ニッポン!!

Felix Kuschel

始めに、日本に滞在した3週間で僕が学んだ一番大切な言葉で、素晴らしい旅の支援をしてくださいました、また日本で出会った全ての人達に感謝を伝えたいと思います。

「アリガトウゴザイマス」

僕は日本の文化や歴史、生活習慣について非常に興味を持っていました。このYCEプログラムは、日本の事をより深く知るといえないチャンスでした。

成田空港に到着するとすぐにラ



イオンズクラブの方が出迎えてくれて、ホストマザーが来るまで付き添ってくれました。

最初のホストファミリーとは、ドイツと日本の違いやお互いの家族の話をしたりして、すぐに打ち解け、連れて行ってもらった成田山ではお寺の伝統や習慣に触れ、その奥深さに思わず卒倒しそうになったのを覚えています。

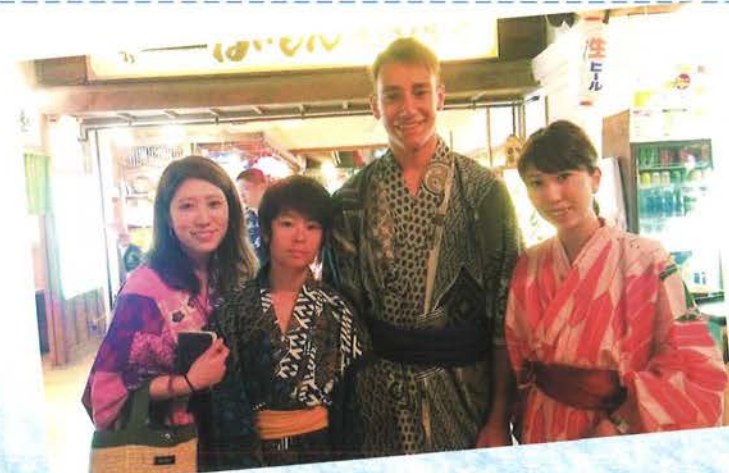
翌日からの4日間はトモコとその友達のヤスコと多くの時間を過ごしました。このホストファミリーは、僕を本当の家族のように

扱ってくれ、まるで自分の家にいるみたいでした。残りの数日には、浅草などの東京の観光地に行ったり、日本食を食べたり、神道と仏教についても沢山学びました。

最後の夜は鎌ヶ谷飛翔ライオンズクラブの例会に行きました。ドイツではライオンズヒムも国歌も唄わないので、日本との例会の違いを知る良い機会となりましたし、沢山の素敵な人達と話すことができました。

翌日からは新たにカワタファミリーと過ごしました。車で水戸へ行って120メートルもある大仏を見たり、水族館や太平洋を臨んだり、博物館で徳川幕府について学んだり：僕の日本滞在第1週目は、これ以上最高の日はないだろうと思うくらい素晴らしいものでした。

翌週は、世界中からMD333に集まった20人以上のYCE生と、群馬県でのキャンプに参加しました。皆とはすぐに家族みたいに仲良くなり、今でも連絡を取り合っています。キャンプではライオンズクラブメンバーやボランティアの人達が、座禅やお茶の体



験などの沢山のプログラムを用意してくれ、群馬の蒸し暑さを忘れるほど楽しみました。同時に、日本のことだけでなく、参加者それぞれの母国について学ぶこともできました。キャンプの後は、ファーストホストやキャンプで出会った人達が恋しくてやや放心状態でしたが、それはわずか数時間のことでした。

ハナザワファミリーが僕を迎えに来てくれるやいなや、すぐに最後の1週間が楽しみになりました



た。

信じられますか？

ファミリーの深い伝統に触れることが出来ただけでなく、お盆の日に集まった一族の皆様を紹介してもらい、ご先祖供養にお供したことはとても名誉なことでした。ホストシスターのナルミとヒカリは、チャージングでいつも僕を気遣ってくれましたし、ホストペアレンツも同様に、本当に良くしてくれました。ファミリーは明治神宮、大江戸温泉、九十九里浜、横浜の夜景、ジップ・ライニングな



ど、色々な所に連れて行ってくれました。

ホストファミリーとは一緒にTVでリオオリンピックを観戦したり、宗教や政治や色々な話題について語り合ったり、いつも自然で普段通りの家庭を感じさせてくれました。

ホストマザーとグランマの赤飯などの手料理も抜群で、滞在中、食事は僕の楽しみの一つでした。ホストクラブの千葉グリーンライオンズクラブの家族例会に招いて



いただいた時も、ドイツ国歌の合唱で歓迎を受け、親しみやすいメンバーの皆様と素晴らしい時を過ごすことができました。僧侶である会長さんからいただいた数珠は、肌身離さず大切にしています。

ハナザワファミリーのおかげで、僕の旅はより忘れがたいものとなりました。将来必ず、またお会いしたいです。

僕の日本への旅を一言でいうと、かつてないほど素晴らしいと、おおらかで親切な皆さんとの出会いの旅でした。そして、日本の文化と伝統と、僕を3キロも太らせるほどの美味しい食事に恋をしました。多くの事を目の当たりにし、多くの事を学んだ日本に、すぐにでもまた行きたいです。

最後に、このような素晴らしい経験をさせていただいたすべての皆様に、改めて心より感謝いたします。

「アリガトウゴザイマシタ」

Aleksandr Savin
(ロシア)

◆ホスト
柏グリーンライオンズクラブ
L島海 涼子

日本での経験は僕の宝物

Aleksandr Savin

僕は2週間、ホストファミリーと過ごしました。

ホストファミリーのライフスタイルはロシアのライフスタイルとかなり違っていました。彼らはとても几帳面で親切できれいな好きでした。ホストマザーは毎日洗濯をしたり、掃除機をかけたり、とても家族を愛していると思いました。

そして僕にもとてもやさしくしてくれました。また、いろいろな所も連れて行ってくれました。浅草、秋葉原、皇居、鎌倉、柏まつり、浅草では天丼を食べたこと、秋葉原では見たことのない電化製品を見たこと、そして鎌倉の海では泳ぐことができたこと、僕の日本で経験したことは宝物になりました。彼らの生活を通して多くのこと



(日本の文化、歴史、日本語)を学び、ロシアと違うことはとても新鮮で楽しかったです。

このレポートでは感謝の気持ちが伝わりにくいかも知れませんが感謝の気持ちでいっぱいです。

ふしぎなロシア人

柏グリーンライオンズクラブ

し鳥海 涼子

彼の名前はアレクサンドリア19歳。将来、科学者を目指しているという大学生。ロシアのモスクワの近くのサンクトペテルブルク在住、成田空港で迎えた時の第一印象は、素直そうな感じの青年でし

た。1日、2日目、3日目と一緒に生活するうちに彼はとても個性的であまり笑わない(微笑まない)ことに気が付きました。私は、娘しか育てたことがないため、男の子とはこんなものなのかなと思っていました。

食事時、冷蔵庫から水が落ちる音が何であるかと質問されました。自動製氷機であることを説明すると、彼はとても驚いてロシアでは見たことがないとのこと。そして、我が家で使っている全ての電化製品の値段を聞きたがりまし

た。ロシアでは、食品・洋服等は安く手に入るけれど、家電品はとても高価でなかなか手に入りにくいとか…。それから数日後、秋葉原に行くことになりました。彼の目的はカメラのキャップを買うこと。ロシアでは2000円もするものが、秋葉原で600円で買うことができます、とても喜んでいました。

また、彼の行きたい場所のひとつ、鎌倉に連れて行きました。大仏、八幡宮、小町通りを散策、そして弓ヶ浜まで歩き、大勢の海水浴を楽しむ人々がいるなか、彼はTシャツGパンを脱ぎ捨て、私が



止めるのを振り切りパンツ1枚になり海に入っていました。ロシアは冬の厳しさがあるため、夏の太陽や海の感触は貴重なのかと思いました。

ちょうど、彼が我が家に滞在中にオリンピックが始まったのですが、私たちがオリンピックを観戦していてもなんの興味も示さず「ロシアがでているわよ」と声かけしても無反応…夫が「チームスポーツは嫌いなのか？」と尋ねると、あっさり「オリンピックの勝敗はつまらない」との返答。私たちはそれ以上オリンピックの話

は触れないようにしました。

そして、最後の日ロシアでよく食べると言うクレープみたいなスイーツを作ってくれました。材料の薄力粉1kg全部を使おうとしていたので、これは4人分としては多過ぎると言っても聞き入れず、結局、薄力粉1kg分のクレープになりました。膨大な量のクレープは、ひとり2、3枚が消化できる量。ロシアでは1回にたくさん量を作り置きし、毎日毎日なくなるまで食べ続けるそうです。それは、大きい鍋で作るスープだったと、とにかく大量に作るのとこと。

彼と過ごした生活は、彼も驚いたり戸惑ったりしたことがたくさんあったと思います。が、私も彼と同じように文化の違いに驚きでした。彼にとって「日本の生活スタイルが便利で楽しいものだ」と聞いたときは良かったと思いました。

将来、自分もロシアで自動製氷機の付いた冷蔵庫を買うのが夢だと言って、彼は帰国しました。きっと彼だったら、その夢が叶うでしょう…。



Charter Night Anniversary



市川パインツリーライオンズクラブ 結成10周年記念の集い

9月24日(土)／会場…ホテルニューオータニ幕張

9月24日、市川パインツリーライオンズクラブ結成10周年記念の集いを、ホテルニューオータニ幕張にて開催いたしました。日頃、私達を支えて下さっている方々をお迎えして、和やかな雰囲気の中で、メンバーもさらなる奉仕活動を胸に刻むひと時でした。

記念事業は、市川市市民会館前に時計塔1基贈呈、(公財)千葉県アイバンク協会、市川市緊急災害対策事業、市川市国際交流協会等、地域への支援と共に、レガシープロジェクト支援と、広く内外に支援活動を行いました。式典第3部は、会場を見浜園

内松籟亭に移し、夕ざり茶会です。季節の和菓子と一服のお抹茶で、皆様をおもてなしさせていただきました。夕刻から灯した行灯が、深まりゆく秋の風情を楽しんでいただけたのではないのでしょうか。17回目と続くチャリティ茶会には、大勢の一般の方をお迎えして、ライオンズクラブの広報活動も担っているものと自負しております。

式典を無事終了し、心新たにライオンズクラブメンバーとして奉仕活動を行なって参ります。(市川パインツリーライオンズクラブ 幹事 し徳岡めぐみ)



ホテルニューオータニ幕張で開催された結成10周年記念の集い



見浜園内松籟亭で開催された夕ざり茶会



Sakayama-cho Lions Club Charter Night 20周年式典

10月16日(日)／会場…成田ビューホテル

栄町ライオンズクラブは、チャーターナイト20周年記念式典を平成28年10月16日に、成田

ビューホテルにて開催致しました。栄町長・岡田正市様をはじめ、

千葉県議会議員・岩井泰憲様、栄町議会議長・大野博様、栄町社会福祉協議会長・中澤一夫様のご臨

席を賜りました。333C地区からは、地区ガバナール松本宰史をはじめ、第一



式典を始める前のひと時
メンバーの一部で

副地区ガバナー、第二副地区ガバナー、ならびにキャビネット幹事及び会計、ゾーンチエアパーソンのご出席をいただいております。地元8リジョン1ゾーンの各クラブからは、それぞれ三役の方々及びスポンサークラブの有志の方々のご出席をいただきました。

当クラブは、成田平成ライオンズクラブをスポンサーとして1996年6月に結成し、同年10月19日に認定式を挙行いたしました。以来20年、私ども実行委員会といたしましては、20周年という節目を迎えるにあたり、当クラブの活動記録を記念誌に収録し、その成果と今後の課題を明確にする



レガシー記念のバッヂ
を頂いて
3役が代表で

ことを目指しております。結果を収録して終わるのではなく、これを機会にライオンズムの原点に立ち返り、「地区ガバナー基本方針」に照らし、地域社会の実態に応じた奉仕活動を展開すべきと考えております。

今回の記念事業は、栄町の新興住宅街の中央に位置する役場からJR安食駅に至る緑道に、ソーラーポールライト15基を設置しました。これまで足下不十分な照明で、通勤・通学者に不便と言われて続けていた緑道に、照明を灯すことができました。しかしこれではまだ緑道の3分の1、残った3分の2をそのままにはできません。



アトラクション
郷土芸能の獅子舞
保存会の皆様です

CN20周年記念事業

栄町11118号線緑道へ ソーラーポールライト15基設置



引渡式にて記念撮影



緑道に設置の様子



緑道の全景



出席いただいた栄町・岡田正市長(右)



レガシー・プロジェクト支援のプレートに栄町ライオンズ名を刻印

近い将来に完成したいものです。
 (栄町LC20周年実行委員会
 委員長 L牧野 隆)

写真提供…高野内勝幸



Chiba Yukino Lions Club 千葉ゆうきのライオンズクラブチャーターナイト20周年

10月2日(日)／会場：千葉ポートプラザホテル

10月2日午前11時より千葉ポートプラザホテルにて、千葉市長や地区ガバナー、松本宰史をはじめ、ライオンズクラブ関係者等139名のご出席のもと、千葉ゆうきのライオンズクラブのチャーターナイト20周年記念例会を開催いたしました。

開場と同時に会員がエレクトーンの演奏でお出迎えし、開会のオープニングには例会で手話の練習を重ねてきたので、みんなで手話歌「ビリーブ」を披露しました。本番では新制服に身を包み、初披露も兼ねた新鮮な気持ちでやりました。

今まで20年間、ビタミンカラーの黄色やピンクの制服で活動してきましたが、今回の記念例会をきっかけに、落ち着いた深い紫色の制服に衣替えしました。

また、祝宴のアトラクションには、女性クラブのイメージにふさわしいハーブと会員によるフルー

トの演奏をお聴きいただきました。

女性だけの小クラブではありませんが、これからも奉仕活動に力を合わせて参ります。

記念事業は以下のとおりです。

- 一、クラブ員全員による 1000\$ 献金
- 一、カンボジアにライオンズクラブをエクステンション (5クラブ合同)
- 一、カンボジアに建設した 千葉ゆうきの中学校の整備
- 一、熊本地震災害支援
- 一、日本網膜色素変性症協会に 支援



地区ガバナー、松本宰史を囲んで



開会のオープニングでは手話歌「ビリーブ」を披露



メンバーのフルート演奏も



祝宴をいろどる優雅なハーブの演奏



佐倉ライオンズクラブ結成50周年記念事業「佐倉幸せの鐘」

10月22日(土)／会場… 印旛沼サンセットヒルズ

10月22日、印旛沼が一望できる高台の印旛沼サンセットヒルズにて結成50周年記念式典を挙行了しました。

野外での式典ということで心配していた雨も降らず、秋らしい陽気のなか佐倉市長を始めとした地元の来賓、地区ガバナーL松本幸史を始めとしたライオンズクラブの来賓、親クラブの市原ライオンズクラブ、姉妹提携クラブの台北市北区ライオンズクラブ他、多くの皆さまにご出席いただき開式しました。

式典では記念事業の100周年レガシー・プロジェクト「佐倉幸せの鐘」の除幕式を、来賓の皆さまに行っていただきお披露目することができました。

この「幸せの鐘」はクラブ会員の地元愛から発案され、佐倉市の新たな観光名所として、市内外多くの方々に豊かな印旛沼の自然と景色をご覧いただきながら、幸せ



印旛沼を一望できるサンセットヒルズに「佐倉幸せの鐘」を設置

な気持ちになっていただきたいとの願いを込め、メインの鐘以外の設計、材料、建設など全てにおいて会員の手により完成させ佐倉市へ寄贈させていただきました。今後、佐倉市はこの鐘をNPO

団体が主催・運営する「恋人の聖地プロジェクト」に登録し、新たな観光名所としてPRして行くことで、婚活パーティーや合コン、結婚式などに活用をしていただければ嬉しい限りです。



結成50周年記念式典に出席の来賓の皆様と



祝辞をのべる地区ガバナーL松本幸史



南房総ライオンズクラブ 10周年記念式典

12月3日(土) / 会場：南房総富浦ロイヤルホテル

南房総ライオンズクラブの結成式は07年2月24日、そしてクラブ認証状伝達式・チャーターナイトは4月7日に行われました。10周年記念式典は年次大会のホストをとめる都合もあって、半年早く、12月3日、南房総富浦ロイヤルホテルを会場に開催されました。

準備に半年ほどついやして迎えた式典には、地元南房総市長、館山市長ほか来賓、地区キャビネット役員、ブラザーズクラブのメンバーなど100名を超える方々の列席をいただきました。「結成10年にしてガバナーを輩出したのはすごい」との言葉は、祝辞のなかで何度かでてきた言葉でした。確かに当クラブからは10周年の記念すべき年に、地区ガバナーL松本宰史、キャビネット三役や役員を送り出しています。

スポンサークラブ・鴨川ライオンズクラブ、ガイドイングライ

オンのL中西二二夫(館山ライオンズクラブ)、L鈴木利和(鴨川ライオンズクラブ)への感謝状の贈呈に続いて、10周年記念の「那古寺・石堂寺へのサクラの記念植樹、100周年レガシー・プロジェクトへの献金、千葉県アイバンク協会への献金」の事業発表と目録贈呈を行いました。

式場を移しての祝賀会では、第一副地区ガバナーL高橋克文、クラブ設立時のガバナーでもあった元地区ガバナーL霜禮次郎から祝辞をいただき、当クラブの発起人、クラブ創設の立役者でもあるL丸淳一(鴨川ライオンズクラブ)の乾杯で祝宴に移りました。第二副地区ガバナーL木村英俊のライオンズ・ローアでしめくり、チャーターナイト10周年を成功裏に終えることができました。遠路みえたライオンにあらためて感謝申し上げます。



スポンサークラブ・鴨川ライオンズクラブ会長L高橋清一郎へ感謝状贈呈状贈呈



ガイドイングライオン・L中西二二夫(右)、L鈴木利和へ感謝状贈呈



10周年記念事業の目録を贈呈



ライオンズ・ローアで式典のしめくり。キャビネット役員も多数列席

FWT全日本女性フォーラム in 東京

10月21日(金) / 会場・衆議院憲政記念会館

FWT第5会則地域副リーダー L長澤千鶴子

10月21日、東京永田町の衆議院憲政記念会館で「FWT全日本女性フォーラム in 東京」が開催いたしました。中村泰久国際理事をはじめ各複合地区から464名の参加をいただき、我が333-C地区からも元国際理事の後藤隆一、地区ガバナーの松本宰史をはじめ42名の皆様に参加をいただきました。大変うれしく、あらためて感謝申し上げます。

初めての国際第二副会長に選出されたグッドラン・ビョート・イングバドター氏を講師にお迎えし、女性の意識の高揚を図ることに

ライオンズクラブ100年の歴史の中で、女性会員が認められたのは1987年、台北における国際大会でした。ライオンズクラブ100年の歴史の中でまだほんの29年でありません。この間、女性の活躍が求められながらもなかなか活躍の場が見出せませんでした。2015年1月からFWTが日本からスタートし、女性及び家族会員の定着と女性リーダーの育成を目的とし地域に則した活動を展開しております。中でも100周年記念奉仕チャレンジに



小池百合子東京都知事と面談するL長澤千鶴子

今年度のフォーラムは6月に行われた福岡国際大会で、女性では



グッドラン国際第二副会長(左端)も出席



衆議院憲政記念会館を会場に開催されたフォーラム

りライオンズクラブを活性化し、発展に繋げていくことを趣旨とした講演をしていただきました。グッドラン国際第二副会長は5年前、私が第一副地区ガバナーの時にFWTの前身ともいえる第1回全日本女性フォーラム(千葉)に出席された際、女性会員の増強についての重要性を力説されておりました。

添った視力奉仕や食糧支援は、女性の目線と感性を生かしながら各地区において重要な役割を果たしております。これらの奉仕を通してGMT・GLTとの連携を図りながら、家族及び女性会員比率50%、女性リーダーの育成や家族会員の活躍の機会を拡大し、さらなる飛躍をめざしてまいります。

からFWTが日本からスタートし、女性及び家族会員の定着と女性リーダーの育成を目的とし地域に則した活動を展開しております。中でも100周年記念奉仕チャレンジに

Information

アラートフォーラム in 千葉2017 2017年3月11日(土)

会場：龍宮城スパ・ホテル三日月(木更津市)

昨年開催された「アラートフォーラム in 福島2015」に続き、来年は千葉での開催になります。

詳しくは、2017年1月に、クラブ幹事を通じてご案内いたします。

第128回 千葉県高等学校弁論大会 第36回 ライオンズクラブスピーチコンテスト

上位2名は来年度夏の全国大会に推薦
優勝者はライオンズクラブの海外研修に参加

2017年1月21日(土) 13時～

会場：美浜文化ホール 入場無料・入退場自由
千葉市美浜区真砂5-15-2

ぜひ、高校生たちの元気な弁論、スピーチを応援に来てください!



渡辺芳邦・木更津市長の祝辞。ともに登場したマスコットキャラクター「きさポン」 研修会の様子



ヘレン・ケラーについて熱く語る地区ガバナーL松本幸史



90歳になるL出口喜男・日本アイバンク運動推進協議会理事長 (諫早ライオンズクラブ)



千葉大学医学部附属病院眼科助教 和田彩子先生

東京湾のむこうに雄大な富士山を望む冬晴れの日、木更津市で日本アイバンク運動推進協議会全国大会が開催されました。第39回となる今大会は、千葉県では初の開催となります。開会の言葉は元地区ガバナーで千葉県アイバンク協会理事長のL岡野正義、献眼者に対しての黙祷、地区ガバナーL松本幸史の歓迎の言葉、森田健作・千葉県知事(代理)、渡辺芳邦・木更津市長からの祝辞と続きます。木更津市長とともに現れたのはご当地木更津市のマスコットキャラクター「きさポン」。会場の雰囲気气和を和らげてくれました。

大会のメインとなる研修会に登壇したのは千葉大学医学部附属病院眼科助教の和田彩子先生。眼の基礎的な知識や病気について、そして最新の医療技術など、画像を使ってわかりやすく解説。高解像カメラがとらえた眼の手術の様子を紹介した動画では、ミクロ単

日本アイバンク運動推進協議会 第39回全国大会 千葉大会
 12月8日(木)／会場：龍宮城スパ・ホテル三日月 富士見亭 (木更津市)
 「献眼登録を積極的に推進する伝道者に！」千葉で初の全国大会開催！

日本アイバンク運動推進協議会 第39回全国大会 千葉大会

『眼と老化』
千葉大学医学部附属病院
助教 太和田 彩子

『アイバンク推進運動と私』
NPO法人日本アイバンク運動
推進協議会 理事長 L 出口 喜男



千葉県では初の開催となった全国大会



懇親会では房総勝浦ライオンズクラブによる余興も登場



約300名の参加者を集めた千葉大会。懇親会会場

位の繊細なメスの動きに参加者一同感動を覚えていたようです。

続く講演は日本アイバンク運動推進協議会理事長L出口喜男による「アイバンク推進運動と私」。産科医ならではの話題などで会場を笑いにさそってのリラククスしたなかにもアイバンク・献眼登録運動の重要性について切々と話し説得力のある講演内容でした。

「千葉はこれで献眼登録者が増えること間違いありません、角膜移植手術実績も確実に増えます」と念押しをされたそのひとは、参加者の胸に焼き付いた言葉だったのではないのでしょうか。

第2部は「ヘレン・ケラーとライオンズクラブ」の演題で地区ガバナール松本宰史の講話が行われました。ヘレン・ケラーと日本との結びつきなど、あまり知られていないエピソードを盛り込んで熱く語ってくれました。その後は、懇親会に移り成功裏に大会は終わりました。約300名の参加者を集めたこの全国大会千葉大会は333-C地区の今後のアイバンク運動の大きな推進力となることと思います。

CLUB NEWS

11R1Z

南房総ライオンズクラブ 今年度も、メンバー一同 団結して全力投球！

今期の今現在のアクティビティとしては、7月に七夕コンサートを那古寺で開催したのを始めとし、いろいろな事に取り組んでまいりました。南房総市と館山市の小学校に例年通り、子供たちの活字離れ防止のために継続事業として続けている本の寄贈を行いました。図書館に「ライオンズ文庫」というコーナーを設けていただき、本を読んだ子供たちから感想文をいただいております。



チャリティゴルフの募金を授与

また今期は、チャーターナイト10周年の節目の年でもあり、12月3日に記念式典を開催します。大勢の皆様にお集まり頂き開催する事を楽しみ只今準備をしておりますので、どうぞよろしくお願いたします

します。

記念事業として、観光名所である館山の那古寺と南房総市の石堂寺に桜の木の記念植樹を行います。100周年記念事業・レガシー・プロジェクトへの協力として11月22日にチャリティゴルフを開催しました。集まった募金は百周年コーデイネーターのL土屋英雄に目録としてお渡しいたしました。多くのライオンズメンバーにご協力を頂き7万5000円が集まりました。本当にありがとうございます。

当クラブはまだまだ設立10年目の若いクラブですが、今期はL松本宰史が地区ガバナーとなり活躍をしています。皆様からよく「大変だね」と言われ「はい、頑張ります」と返事をして参りました。しかし本当は何が大変なのかが分からない、まさに手探り状態で日々進んでいる感じです。残り半年ですが、今後ともクラブ員全員でライオンズクラブの活動に取り組んでまいりますので、皆様のご指導よろしくお願いたします。

（南房総ライオンズクラブ
会長 L井澤一昭）

11R2Z

房総勝浦ライオンズクラブ 100周年の年に、 会員100名を達成！

房総勝浦ライオンズクラブは、本年度クラブスローガンとして会員100名必達を掲げ、10月例会においてその目標を達成しました。記念すべきライオンズクラブ発足100周年にあたり、会員100名を達成できたことはメンバー全員の今後の励みにもなります。また100名というスケールメリットを活かし、さまざまな地域の社会貢献に寄与していきたいと思っております。

また、100周年記念レガシー・プロジェクト「カンボジアの子供たちに学校を建設しよう」という目標に向けて、アクティビティを行う際、さまざまな企業、地域のイベント会場においても宣伝募金活動を行っております。

9月特別例会ではレガシー・プロジェクト・チャリティゴルフコンペを開催しました。本年度から房総勝浦ライオンズクラブ主催となったこのチャリティゴルフは、



レガシー・プロジェクト・チャリティコンペ(第87回岡田杯)を開催

前年度まで岡田杯という名称で86回開催しておりました。当クラブメンバーでもあった故L岡田正洋が、地域の繋がりをゴルフを通して行いたいという趣旨のもと、毎回150名以上が参加する大会でした。

ライオンズクラブ活動にも積極的に関わり、今日の房総勝浦ライオンズクラブの礎を築いたメンバーの一人でもあるL岡田正洋の遺志を引き継ぎ、房総勝浦ライオンズクラブでは継続事業としてこの事業を行っていききたいと思っております。

CLUB NEWS

6R2Z

千葉若潮ライオンズクラブ 開催40周年記念大会 「千葉市親子写生大会」

11月3日(木・祝日)千葉市動物公園にて、親子写生大会を開催いたしました。写生を通して親子の絆を深め、千葉市の郷土愛を育てようと、小学6年生以下の子ども・親子を対象に毎年開催しております。

当日は秋晴れの暖かな日で、多くの親子連れが集まり、画用紙と筆記用具を受け取って自由に書き始めました。

千葉市動物公園では、今年4月から新たに2頭のライオンがお披露目されたこともあり、大勢の子ども達が集まりスケッチしていました。

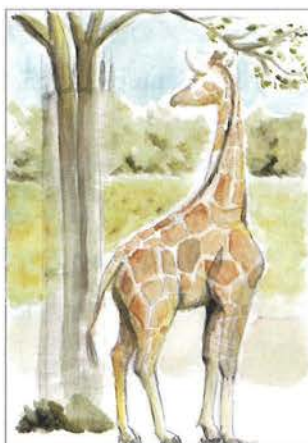
提出された作品は専門家に評価していただき、優秀作品には表彰式にて賞状と賞品を授与します。また、若潮賞の受賞者には作品を絵はがきにしてお渡ししています。

この写生大会は40年続けてきたので、すっかり地域の恒例行事と

して根付き、親子二代での参加もあり大変嬉しく思います。これからも千葉市教育委員会など多くのご支援ご協力をいただき、親子の絆を深め情緒豊かな青少年育成のために、また郷土愛の育成のためにも、奉仕活動を続けていきたいと思えます。

(千葉若潮ライオンズクラブ

会長 上渡邊昌秀)



9R1Z

銚子ライオンズクラブ

Folkmoot USA 2016

参加レポート

イベント名：Folkmoot USA 2016

開催期間：2016年7月21日

～31日

開催場所：アメリカ・ノースカロ

ライナ州

参加国：中国、ドミニカ、フィンランド、フランス、日本、ペルー、ポーランド、ウガンダ、アメリカ、メキシコの計10カ国（全員で250人以上）

イベント概要：イベントを通して、様々な文化を通じ一つのコミュニティにというところがコンセプトです。2016年で33年を迎える伝統あるイベントです。

日本からの参加人数（ひびき連合会）：12人（通訳を含む）

その他：アメリカの31L地区の地区ガバナー Max Bumgardner さんにお会いしました。開催日3日目、パレードを見に来ていただき、その後、宿泊先まで来ていただきました。

マックスさんの Facebook の投稿です。

"Got to spend some more time with my new Lions friends, Hideki Kaneshima and Tatsuya Maruyama after the parade at the Folkmoot Friendship Center. Hideki is a director of the group, while Tatsuya is travelling as an interpreter. Hideki is the President of the Choshi Lions Club. I presented both with a NC state pin as well as my District Governor's pin. Hideki was very gracious and presented Debbie and me with a Hagi cup and wind chime. Once again, Lions Clubs continue to build bridges between nations."

日本語訳

“私の新しいライオンズの友人、金島秀樹と丸山達也とパレードの後、Folkmoot Friendship Center（宿泊先）で時間を共にしました。秀樹は日本のグループのディレクターで達也は通訳として一緒に旅をしています。秀樹は銚子ライオンズクラブの会長です。私は二人にノースカロライナ州のピンと私の地区ガバナーのピンをプレゼントしました。秀樹はとても親切で、デビー（奥さん）と私に萩のカップと風鈴をプレゼントしてくれました。ライオンズクラブは国家間の橋の構築を継続する”

（銚子ライオンズクラブ

会長 L金島秀樹）



地区ガバナー Maxさんとパレードの後で



今回の参加国のメンバー、スタッフで集合写真



銚子LCのパナーと一緒に



ガバナーにピンをつけてもらっているところ

CLUB NEWS

9 R 3 Z

飯岡ライオンズクラブ 第20回旭市中学校生徒 英語発表会(飯岡LC主催)

9月23日(金)飯岡ユートピアセンターにおいて、飯岡ライオンズクラブ主催の第20回旭市中学校生徒英語発表会が、旭市・明智忠直市長、教育委員会、旭市内学校長、第二副地区ガバナーL木村英俊、3ゾーンゾーン・チエアパーソンL勝部進、地区役員、ブラザークラブ出席のもと盛大に開催されました。

青少年健全育成活動として、将来の国際人としての世界共通語である英語力の向上と、大勢の関係者、保護者が見守る中での発表を通して、ここに至るまでの努力とあわせて、発表した生徒達にとって、これからの人生にとって貴重な経験となり、今後さらに成長していくための一助となることを願い継続しております。

今年、ライオンズクラブ国際協会創立100周年という記念すべき年に、節目となる20回目を迎えることができましたことは、

学校ならびにライオンズ関係者、審査員の先生方のご指導、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。次第です。

発表会は、1年、2年、3年の暗誦部門、学年を問わないスピーチ部門、あわせて市内全5校の中学校より39名が参加し、この日までに一生懸命勉強した英語力を披露いたしました。

各部門の表彰式の後、第1回目から継続して審査をお引受けいた



第20回の記念の大会となった旭市中学校生徒英語発表会

だいております。審査委員長の塚本雅之先生の講評の中で20回にして初めて、誰ひとりとして間違いない素晴らしい出来であり、年々英語力のレベルが向上しているということをお話しされました。

ライオンズクラブ国際協会創立100周年の一環として、実施いたしました発表会は、今年も成功裏に終了することが出来ました。これも関係者の支援、メンバーの



身ぶり手ぶりをまじえての真剣な発表



これまでの練習の成果を披露

協力、そしてなんといっても、主役であります発表会に参加いたしました生徒達の頑張る姿であります。次回に向けて、この発表会をさらに発展させ、より充実した内容のものにすべく努力していきたいと思っております。

(飯岡ライオンズクラブ
教育YCE委員長 L守部幸二)



参加者、関係者一同の記念撮影

CLUB NEWS

11 R 2 Z

鴨川雛ライオンズクラブ 子ども達と子育てに がんばっている人たちを応援!

鴨川雛ライオンズクラブは、未来に生きる子ども達と、その子ども達を愛し育てるためにがんばっている人たちを応援します!

子育て支援を目的とし、青少年健全育成に尽力されている団体に活動資金を支援しています。今年度は「鴨川少年少女合唱団」「ひまわりキッズ」「あわアース広場」「鴨川市社会福祉協議会」「鴨川少年野球連盟」の5団体に支援予定。8月にコンサートを行った「ひまわりキッズ」に支援をしました。

また、鴨川市では生活困窮家庭の子どものための事業が発足しました。F.W.Tでも貧困に苦しむ子ども達にライオンズクラブとして



大山千枚田・棚田の夜祭り



ワッフル、だんごを販売



チャリティショップを出店

千葉ロッテマリーンズ鴨川キャンプ



できる事は何かあるかなど話し合いが行われましたが、鴨川雛ライオンズクラブはこの事業に賛同し食事提供させていただくこととし、10月に第1回目を実施しました。支援の際、会費や寄付で足りない分を市内の行事への出店を行って資金調達を行っています。単に資金調達ということだけでなく地域行事に参加することにより、観光や地域活性化に貢献し、ライオンズクラブの活動を知っていただく機会となるのではとも考えています。

11 R 2 Z

夷隅ライオンズクラブ 菜の花種まき

去る10月21日、恒例となりました「いすみ鉄道支援事業・菜の花種まき」が行われました。いすみ鉄道は近年マスコミ等でも多く取り上げられるようになり、春になると路線沿い一面に菜の花が咲きほこる事から、別名「菜の花列車」として人々に親しまれています。いすみ鉄道は、JR東日本の本原線を引き継いで1988年に誕生しました。総延長は26.8km、JR大原駅から房総半島内陸部に入り、上総中野駅で小湊鉄道と接続、JR五井駅につながる房総半



菜の花種まき参加者で記念撮影

島横断路線を形成しています。現在、いすみ鉄道は第三セクターで運営されていますが、経営は大変厳しい状況が続いています。そのため、周辺地域ではいすみ鉄道を盛り上げようと、この他にも様々なボランティア活動が盛んに行われています。いすみ鉄道を存続させたいと願う地域住民の思いが活動を支えています。春になりましたら、ぜひ一度満開の菜の花に囲まれて走るいすみ鉄道にご乗車いただきたいと思います。



いすみ鉄道の線路ぎわで種まき



早春、列車の窓越しに菜の花が見られる

CLUB NEWS

4R2Z

船橋シニアライオンズクラブ チャーターナイト20周年記念 事業・上総掘り案内看板の 設置について

電気、機械のない江戸時代のころから井戸を掘る用法として用いられたのが「上総掘り」で、先端に吸入弁を装着した鉄管に竹ひごをつなぎ掘り進む方法です。

平成14年に地鎮祭を行い、直径3mのひご車を組み立てる井戸掘り作業は、同年3月21日、開始1週間で水脈に到着。完成した井戸に「手押しポンプ」を付け、この



上総掘りについて詳しく書かれた案内看板を設置

地が「東(あずま)町」であることから「あずまの泉」と命名、現在に至っています。

上総掘り案内看板はライオンズクラブ国際協会100周年記念レガシー・プロジェクトの一つとするため、船橋シニアライオンズクラブ設立20周年の記念事業として設置したものです。この周辺は自然の宝庫なので毎年、市内小学生の観察会を行っています。

11R1Z

館山中央ライオンズクラブ ライオンズクラブ100周年 記念事業 館山夕日棧橋「第4回ちよい 投げ釣り大会」

ライオンズクラブ100周年記念事業として、館山夕日棧橋にて「ちよい投げ釣り大会」を開催しました。当クラブとNPO法人たてやま海辺の鑑定団との共催。市内市外から約30名の参加があり、館山市職員と地元釣具店の協力のもと、今年で4回目を数えます。大会の対象魚はシロギス・ヒイラ



館山市のマスコットキャラクター「ダッペエ」くんも登場!

ギ等5種で、参加者は400mの大棧橋で魚信を待ちました。大会の最後には館山市の「秋のごみゼロ週間」にあわせて、棧橋とその周辺の清掃活動を全員で行い、毎年これをライオンズクラブ世界奉仕デーとしています。

(館山中央ライオンズクラブ

L 酒井伸一)



参加者、スタッフ全員で記念撮影

CLUB NEWS

11R 2Z

鴨川ライオンズクラブ レガシー100周年事業 「環境美化チャレンジ」

鴨川ライオンズクラブは、クラブ相互の信頼と友愛のもと、また、地域のご理解とご協力により、お蔭様で前年度にチャーターナイト50周年を迎えることができました。その50周年記念事業の一環として、鴨川市大海地区に位置する南房総国定公園「鴨川松島」の再生プロジェクト事業に参加しました。これは、往年の観光資源を復活させて、竹林の伐採や海岸清掃により、昔の原風景を取り戻そうというプロジェクトです。労力アクトイビティ500時間の目標も立て完遂しました。

今年度は更にこの事業を継続させて、海岸に点在する島々や、その東側に位置する鴨川漁港、そこに停泊し出港する漁船に目をやる事ができる場所を、そして、夏の海で遊ぶ子らが集まる懐かしい昭和の風景再現のため



景勝地・鴨川松島の環境美化



労力アクトイビティ500時間を完遂。作業を終えてメンバーと

め、ライオンズクラブ100周年事業として再び取り組むことと致しました。

地区ガバナーL松本宰史のスローガン「希望の海原 奉仕の帆を上げ 新たな百年へ よーそろー」を、ここ鴨川松島海岸で小

さいながらも実現させようと、クラブ員やその従業員、作業重機を動員して頑張っています。

また、鴨川市の東側に旧天津小湊町があり、海岸線からこの

県道81号線をくねりながら上ると山頂付近に清澄寺があります。この街道に休憩のための丸太ベンチを設置しました。

継続事業になりますが、7年前に市内を流れる加茂川の沿岸2キロメートルに亘って200本の桜を植樹し、季節ごとに草刈りや堆肥を施しているうちに、いよいよ成木となって花見のできるまでに育ってきました。

私たち鴨川ライオンズクラブは、レガシー100周年事業を契機に、これからも環境美化保全、創造に努めてまいります。

(鴨川ライオンズクラブ

会長 L高橋清一郎)

6R 2Z

千葉ゆうきのライオンズクラブ ガバナー大賞 高齢者にやさしい「デフ」運動会

昨年9月27日(日)千葉市療育センター体育館で、耳が聞こえない高齢者の方のための運動会を開催しました。現在は障がい者理解がすすみ差別が少なくなりましたが、コミュニケーションの問題で

う高齢者は家に孤立しがちです。「子どもの頃、耳が不自由なため差別を受け、地域の運動会に参加出来ず寂しかった」と思っているのを知り、今からでも遅くないので地域の人と交流できる運動会を企画しようと思いがちになりました。

年齢を気にせず無理なく出来る種目を考え、手話サークルや手話通訳者の協力を得て進行文字ボードなどを作成。また、1等賞品に会長宅で収穫した白米などの景品をそれぞれ前に並べ、獲得目指して輪投げやパン食い競争などに大いに盛り上がりました。障害があるなし関係なく、高校生や私達も参加して、久しぶりに良い汗を流した笑顔いっぱい運動会でした。



デフ運動会のワンシーン

寄稿

ライオンズクラブ100周年を迎えて



ライオンズ百周年
副コーディネーター
L 谷島 重夫

時あたかも、ライオンズ100周年を迎えたこの記念すべき年に遭遇した私は、少なからず心の中で斬新的な想いを覚えました。

ライオンズクラブ国際協会として、崇高な理念のもと、世界にその名を馳せる最大の実績と歴史を誇る団体として、堂々の前進をしてきました。そのメンバーとして私も、今、この佳節に身を置くことのできることに、喜びと感動を覚えずにはいられません。同時に今ある自分に、新たな使命感を強く決意しています。

ライオンズクラブに入会して、多くの先輩からの激励を受け、3331C地区歴代のガバナーのスローガン方針を学び、語り、活動の継続による現在があり、感謝の念で一杯です。

3331C地区における昨今の組織力、会員数等々、問題点があるように思われますが、それを乗り越えるように、スローガンを掲げ、企画を立て、歴代のガバナーが、改革や充実に力を注ぎ、全力投球の前進を続けてきました。

この時にこそ、新たに、3331C地区各クラブが、そして各メンバーが「やるんだ」の一言で動いた時、必ずできる、必ず改革は成り、

大きな前進があると確信します。

さらに、その波動が一波、万波と大きく広がり世界に輝きを照らすことでしよう。

まさにライオンズ100周年を迎えた今、共にライオンズ100周年の意義を心に刻み、一歩前進したいものです。この時に「レガシー・プロジェクト」の意義、遺産に残る作業をとるに実行する必要があると考えます。

今年、奇しくもクラブ会長に就任し、この「レガシー」と言う意義をメンバーと語り合い、新たな出発を呼び掛け、共鳴したクラブメンバーと共に出発しました。今年、我がクラブのチャーターナイト15周年記念の節目を飾る計画をスクラムを組んで、実行に着手しました。

過日、地区ガバナーL松本宰史、その他多くのご来賓の出席のもと、明るく、楽しい、しかも盛大な式典が挙行されました。その記念行事の一環とし、青少年育成支援事業や、障害者・弱者支援事業などを中心とした、6項目の目標を決定し、諸団体への支援事業として、金銭アクティビティを実行致しました。

1、ライオンズ100周年コミュニティ、レガシー・プロジェクト 3331C地区事業への参加

カンボジア学校建設 メンバー全員参加

2、千葉県アイバンク協会への支援隊メンバー

全員登録

3、青少年育成事業 少年サッカーチームへ
金一封

4、日本赤十字社 千葉県赤十字血液センターへ
金一封

5、日本介助犬育成協会への支援として 金一封

6、社会福祉法人れんこんの会への支援として
金一封

以上、6項目の記念事業のように、更なる前進を誓い合いました。

現在の社会の政治経済状態は極めて混沌として不安定な状況が続いています。このような時こそ、我々ライオンズクラブ国際協会3331C地区の存在がクローズアップされる時ではないでしょうか。

私達ライオンズクラブのメンバーは、その崇高な理念のもと、利他の実践を貫く団体として、心新たに、使命を果たす決意をしなければと、声を大にして叫ばずにはいられません。私共がしみじみ思うのは、多くの同志の方々との出会い、語り合い、ご指導をこの身に受けて、人生最高の組織にめぐり合うことができ、ライオンズクラブに入会して良かったと、強く感ずるものです。

これからも多くの方と語り、学び、活動を通じて、クラブにとどまらず、ゾーン、リジョン、地区、そして世界へと視野を大きく開き、共に手を取り合って、堂々と前進していくことを決意しています。

2016~2017年度平和ポスターコンテスト

テーマ：「平和、万歳！」



かみさき

神崎 さくら

酒々井町立酒々井中学校1年

「世界がお花のように優しさで
つつまれるように」願おう。

酒々井LC



みうら かりん
三浦 花梨

匝瑳市立栄小学校6年

世界中の人々の戦争や差別のない
平和な暮らしを願っている。

八日市場LC



いのうえ ゆあん
井上 優杏

匝瑳市立八日市場小学校6年

日本がもっと外国と深い関りをも
ってほしいという思いです。

八日市場LC



とうじょうけい
東城 慧

匝瑳市立豊栄小学校6年

世界の国々を卵に見たて、平和の
雛がかえるように願いを込めた。

八日市場LC



さとう
佐藤 あんり

酒々井町立大室台小学校6年

地球上の全ての生物が、平和に暮
らせますように。

酒々井LC



かわぐち たまき
川口 瑞生

匝瑳市立平和小学校5年

世界中の国々が仲よく手を取り合っ
て平和な国になるように。

八日市場LC



みやうち ほるか
宮内 悠夏

匝瑳市立須賀小学校6年

偏見や言葉のちがいをのりこえ、世
界中の人々が手をつなげるような世
界にしたい。

八日市場LC



ふじた りょうすけ
藤田 良介

酒々井町立大室台小学校6年

地球から人に害を与えるものをなく
したいと思ってこの絵を描きました。

酒々井LC



ひらやま めい
平山 芽衣

酒々井町立大室台小学校6年

この世の中が戦争や争いのない平和
な世界になってほしいです。

酒々井LC



はしもと そら
橋本 蒼来

酒々井町立大室台小学校6年

私にとって平和とは、戦争や災害が
なく、毎日をおだやかにすごせるこ
とです。

酒々井LC



やまくら みみ
山倉 実美

酒々井町立大室台小学校6年

全ての国から戦争がなくなってほ
しいと思います。

酒々井LC

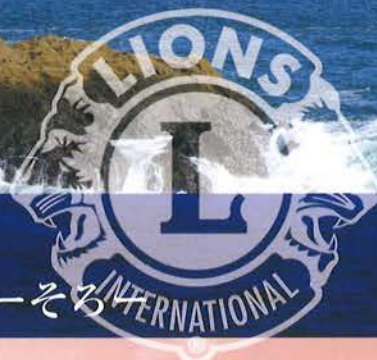
ライオンズクラブ国際協会 333-C地区

第63回地区年次大会

大会テーマ

Welcome to 南房総!

希望あふれる海原 奉仕の帆を上げ 新たな百年へよーそる



2017年 4月22日(土)

年次大会前夜祭

登録料 10,000円

受付 18:00~18:50

前夜祭 19:00~21:00

前夜祭アトラクション

戦国大名里見氏と南総里見八犬伝、
館山伝統の祭りをテーマに

祭り囃子と舞踊の競演

レオ地区大会

受付 15:30~16:20

大会 16:30~18:00

宿泊と移動例会を兼ねて、南房総でゆっくりとおすごしください。

会場 南房総富浦ロイヤルホテル

南房総市富浦町多田良1212 Tel.0470-33-3811

2017年 4月23日(日)

地区年次大会

登録料 4,000円

代議員受付 9:30~9:50

代議員総会 10:00~10:50

一般受付 10:00~10:50

記念コンサート 11:10~12:10

加藤登紀子コンサート

「愛を耕すものたちよ」



加藤登紀子



特別出演
Yae

大会式典 13:30~15:00

会場 千葉県南総文化ホール

館山市北条740-1 Tel.0470-22-1811

地区年次大会ホストクラブ 11R 1Z・2Z

館山LC・館山中央LC・南房総LC・鴨川LC・房州朝夷LC・房総勝浦LC・夷隅LC・鴨川雛LC

年次大会の登録について

今年度の年次大会登録は「eMMR ServannA」で行ってください。
運営の簡素化のためにご協力をお願い申し上げます。
なお、登録開始は、2017年1月中旬頃となります。

1. マンスリー報告と同じ方法で「eMMR ServannA」にログイン
2. 左側のメニューから「地区イベントに参加」をクリック
3. 上部の「イベントの選択欄」から「第63回地区年次大会」を選択
4. 下部「会員氏名」欄の「選択してください」をクリック
5. 「クリックして会員を選択」をクリックして一覧から参加者を選択

6. 参加者が複数いる場合は、4~5を繰り返す
7. 参加者氏名が画面に転記されたら、右の各登録項目を選択
8. 全員の各項目選択を終了後、画面上部の「会員一覧を登録する」をクリック

第63回地区年次大会事務局

ライオンズクラブ国際協会 333-C地区事務局内
〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3 千葉県経営者会館4F
Tel.043-243-2528 FAX.043-247-4756



We Serve